

第3次熊本市歯科保健基本計画の 進捗管理について

資料1～3

第3次熊本市歯科保健基本計画
令和4年度の進捗と令和5年度取組について

基本方針に基づいて施策を推進

- 1 各ライフステージにおける対策の推進
- 2 歯と口腔の健康づくりを支え・守るための環境づくり

「各ライフステージにおける対策の推進」について

胎児期及び妊娠期、乳幼児期

指標1～8

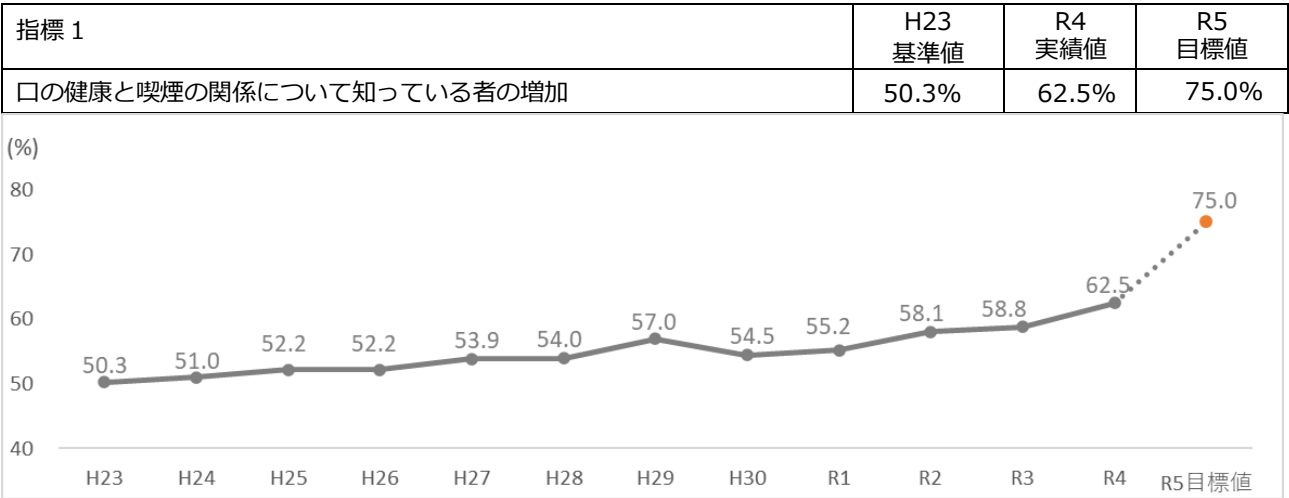
【目標】

胎児期及び妊娠期：口腔の健康を通して、健やかな妊娠生活を支援する

乳幼児期：乳幼児の歯と口腔の健やかな発達と楽しい育児を支援する

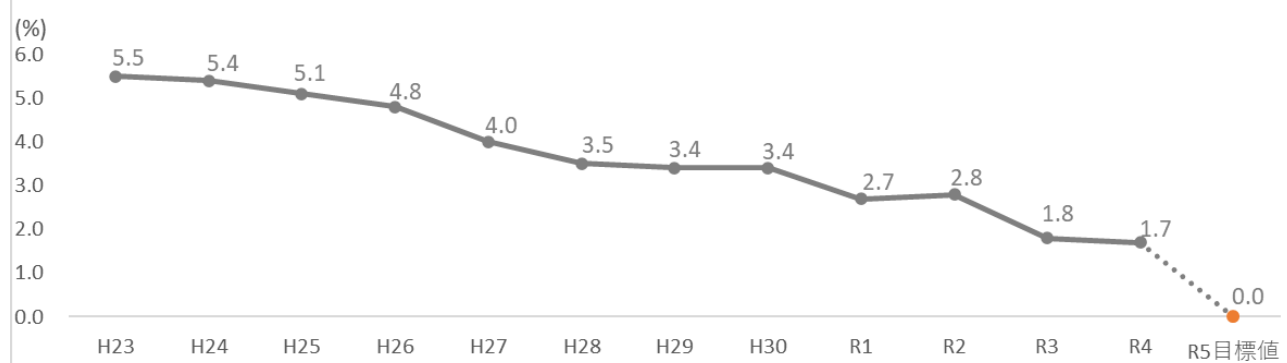
【現状と課題】

- (1) 指標1「口の健康と喫煙の関係について知っている者」は年々増加傾向にあり、ほぼ目標に近づいている。指標2「妊娠中の喫煙」についても順調に減少しているが、指標3「妊娠中に歯科健診・指導を受ける者」はコロナ禍の影響で歯科受診を躊躇される方がおり減少傾向である。妊婦歯科健診は令和5年度からかかりつけ歯科医をもつことを推進するために、区役所での実施（直営）を廃止し医療機関での実施（委託）のみに変更している。受診率の低下が懸念されるため、あらゆる場で啓発を強化していく必要がある。
- (2) 指標4「1歳6か月児でのむし歯のない者」、指標5「3歳児でのむし歯のない者」は経年的にみると増加しているものの、全国と比較すると少ない状況であり、政令指定都市の中ではともにワーストである。
- (3) 指標6「3歳児での不正咬合等が認められる者」は依然として多い。上顎前突のこどもの48.8%に指しゃぶりがみられた。
- (4) 指標8「フッ化物洗口を実施する認可保育園・幼稚園」は新規に開始した園があった一方、コロナ禍で中止する園があり減少傾向である。新しい生活様式に即した歯のみがき方やフッ化物洗口の方法について、情報を提供していく必要がある。



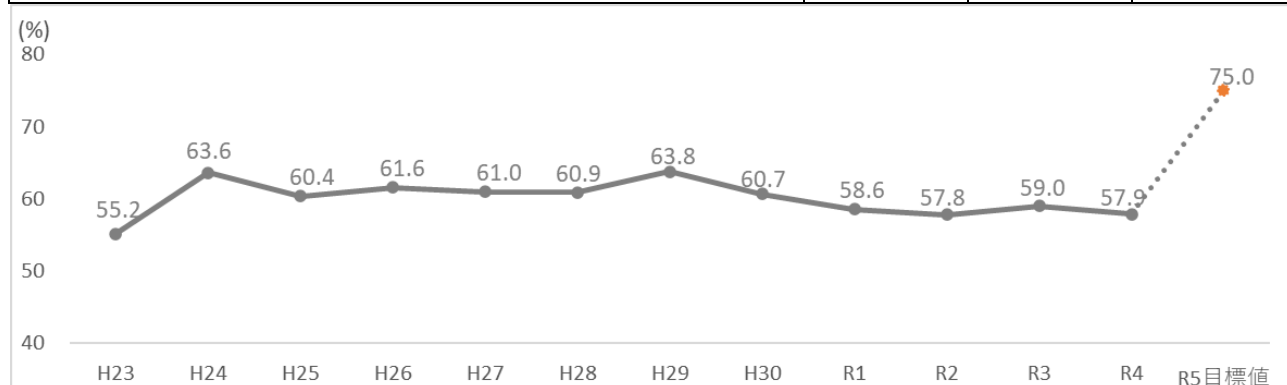
出典：【熊本市】妊婦歯科健診結果

指標 2	H23 基準値	R4 実績値	R5 目標値
妊娠中の喫煙をなくす	5.5%	1.7%	0.0%



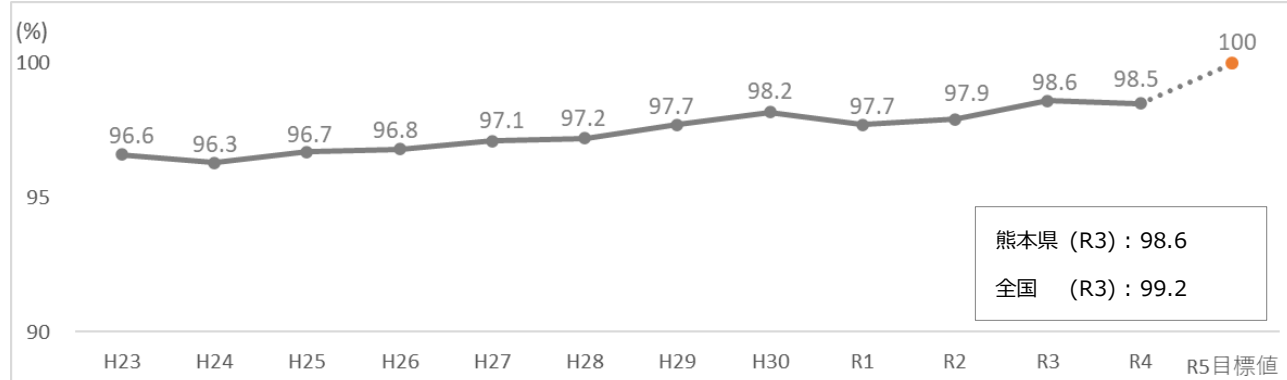
出典：【熊本市】親子（母子）健康手帳交付時の問診項目（健康くまもと 21 の指標データ）

指標 3	H23 基準値	R4 実績値	R5 目標値
妊娠中に歯科健診・指導を受ける者の増加	55.2%	57.9%	75.0%



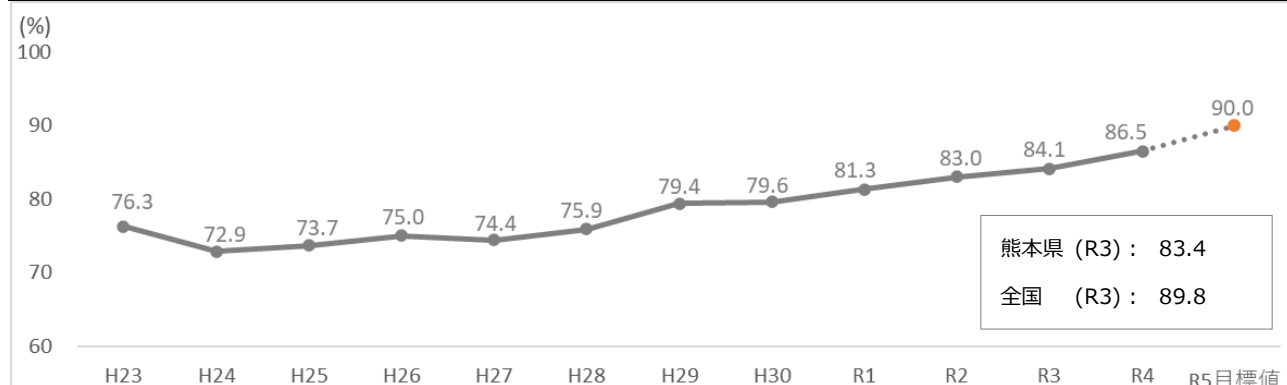
出典：【熊本市】妊婦歯科健診結果

指標 4	H23 基準値	R4 実績値	R5 目標値
1歳6か月児でのむし歯のない者の増加	96.6%	98.5%	100.0%



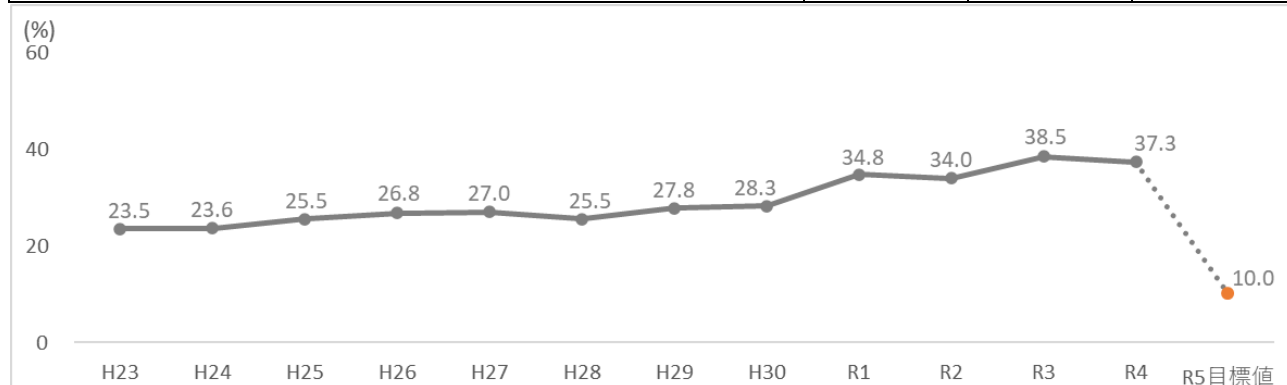
出典：【熊本市】1歳6か月児歯科健診結果 【全国・熊本市】熊本県歯科保健状況調査

指標 5	H23 基準値	R4 実績値	R5 目標値
3歳児でのむし歯のない者の増加	76.3%	86.5%	90.0%



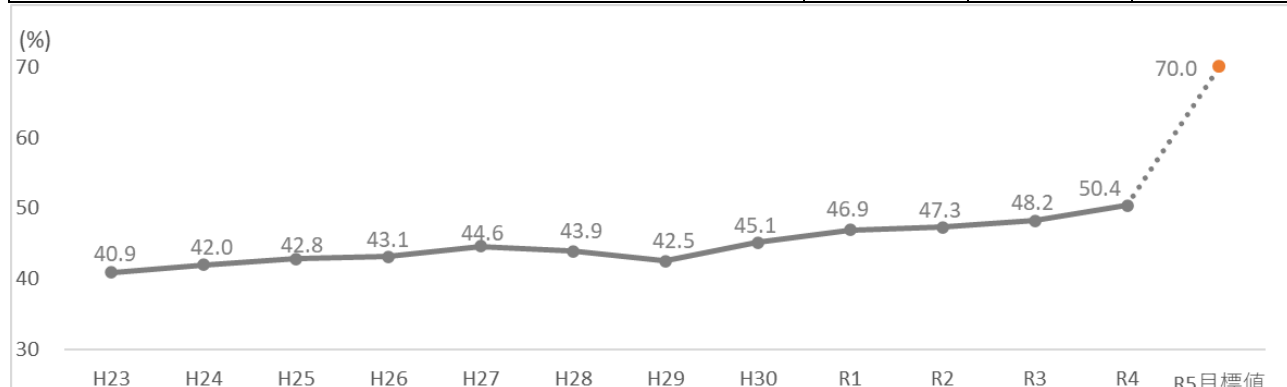
出典：【熊本市】3歳児歯科健診結果 【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

指標 6	H23 基準値	R4 実績値	R5 目標値
3歳児での不正咬合等が認められる者の減少	23.5%	37.3%	10.0%



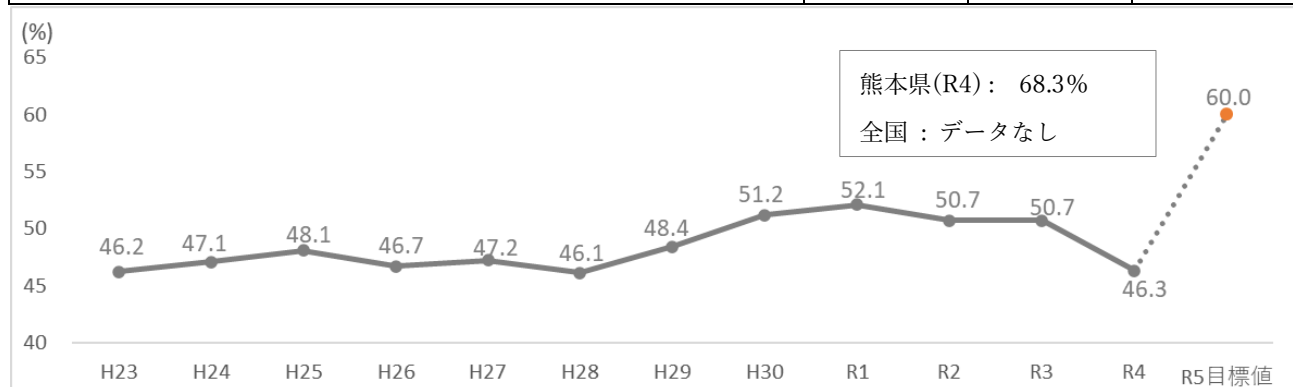
出典：【熊本市】3歳児歯科健診結果 【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

指標 7	H23 基準値	R4 実績値	R5 目標値
3歳までに2回以上フッ化物塗布を受けたことがある者の増加	40.9%	50.4%	70.0%



出典：【熊本市】3歳児歯科健診結果

指標 8	H23 基準値	R4 実績値	R5 目標値
フッ化物洗口を実施する認可保育園・幼稚園の増加	46.2%	46.3%	60.0%



出典: 【熊本市】フッ化物洗口支援事業【熊本県】熊本県歯科保健状況調査

【令和4年度の進捗】

《 行政 》

※R4年度の組織名は当時の名称で記載しています

	主な取組	令和4年度 内容	実績	担当課
1	妊婦歯科健診・相談事業	【子育て世代包括支援センター事業】 母子健康手帳交付時の歯科健診、歯科相談を実施 相談日 385回 1,542人 相談日以外 113回 146人	直営歯科健診 498回 1,688人	各区 保健子ども課 子ども政策課
2	歯科健康相談	妊婦に対して歯科健康相談 を実施 電話相談 3回 3人 面接相談 99回 109人	102回 112人	各区 保健子ども課
3	1歳6か月児 歯科健診 フッ化物体験塗布	・ 1歳6か月児健康診査において歯科健診・歯科健康相談を実施 ・ むし歯予防に効果的なフッ化物体験塗布(希望者)を実施 【参考】1歳6か月児健診時に既にフッ化物塗布を経験している者 1,116人 (17.4%)	健診 254回 6,429人 フッ化物塗布体験率 91.6%	各区 保健子ども課 子ども政策課
4	1歳6か月児 歯科健診 事後フォロー	1歳6か月児健診時に初期むし歯があった児(保護者)に対し、受診3か月～6か月後に電話等によるフォローを実施	110人	各区 保健子ども課
5	3歳児歯科健診	3歳児健診において歯科健診、歯科健康相談を実施	健診 231回 6,670人	各区 保健子ども課 子ども政策課
6	乳幼児歯科 健康教育	「離乳食講座」や地域の子育てサークル等においてむし歯予防講話等を実施	80回 586組	各区 保健子ども課
7	乳幼児歯科相談 (歯科健康相談)	【子育て世代包括支援センター事業】 区役所や子育てサークル等において歯科健康相談を実施 電話相談 80回 80人 面接相談 84回 296人 ※R4年度は育児相談休止	164回 376人	各区 保健子ども課
8	出前講座	生涯学習を通した歯と口腔の健康づくりを実施 講座: 「食べない時の口から支援～幼児ベロタッチ健康法」 実施団体: 口からの健康づくり歯っぴーかむカム	19回	生涯学習課
9	保育所等における歯科健康教育	対象: 幼児、保護者等 内容: 歯科講話、歯みがき指導やフッ化物洗口指導を実施	90施設 94回 4,105人	各区 保健子ども課

10	歯みがき教室等の意向調査	管内の保育所等において、歯みがき教室やフッ化物洗口実施の意向を調査し、むし歯予防事業に対する理解促進を図る。未回答の園や歯みがき教室を希望しない園については、改めて電話等で事業を説明	131 施設	各区 保健子ども課
11	フッ化物洗口支援事業	フッ化物洗口の実施を希望する保育所等に対する洗口剤等の配布及び、円滑な実施に係る技術支援の実施。 園長会等を通じて、フッ化物洗口支援事業についての周知と、子どもの歯と口腔の健康づくりに関する情報を提供。 【公立保育所・幼稚園】 公立保育所（11 施設）、幼稚園（6 施設）において 4・5 歳児クラスを対象にフッ化物洗口を実施	認可 101 施設 （うち新規 2 施設） 認可外 8 施設 （うち新規 3 施設）	各区 保健子ども課 健康づくり 推進課 保育幼稚園課 健康教育課
12	フッ化物洗口支援事業説明会	希望する施設や保護者に対するフッ化物洗口の効果や安全性等について説明。	職員向け 6 施設 33 人 保護者向け 8 施設 124 人	各区 保健子ども課
13	子育て支援センター センター歯科講話	子育て支援センターにて、「歯のお話」を実施。 講師は各区役所保健子ども課歯科衛生士。 講話のみ、短時間で実施。	6 回 26 組	子ども支援課
14	保育所等における 歯科健康診断	保育所・幼稚園等において、園歯科医師による定期歯科健康診断を年 1 回実施	25 施設	保育幼稚園課 健康教育課
15	子ども医療費助成 制度	中学 3 年生までを対象に、保険診療による医療費を助成し、子育て家庭の経済的負担を軽減することで、子育てしやすい環境を整備 歯科（外来・調剤）自己負担額 0 歳～4 歳 無料 5 歳～小 6 700 円（1 か月あたり 1 医療機関） 中 1～中 3 1,200 円（ ” ）	実施	子ども支援課
16	結婚・子育て応援サ イト	歯と口腔の健康づくりに関する情報提供を実施	実施	子ども政策課
17	商業施設での啓発	商業施設においてこどものむし歯予防に関するリーフレット設置及び店内アナウンスを実施	実施	健康づくり 推進課

《 関係団体・機関 》

	令和 4 年度 内容	実績	団体
1	妊婦に対して、歯科健診、歯科健康相談（禁煙指導、受動喫煙の害等）を実施。	1,592 人	熊本市 歯科医師会
2	【歯っぴー39 チャレンジリーフレットの配布】 7 ヶ月児健診時に配布し啓発を実施	実施	熊本市 医師会

3	【市町村歯科衛生士研修会の開催】 県受託授業「市町村歯科衛生士研修会」を歯科衛生士や保育士、保健師、栄養士などを対象として開催。 日時 令和5年3月5日（日） 報告 「熊本県における乳幼児の歯科保健について」 講師 熊本県健康づくり推進課 井上 秀代氏他 日時 令和5年3月19日（日） 演題 「全国ワースト1位。今熊本県に必要なむし歯予防対策」 講師 九州大学院歯学研究院 小児口腔医学分教授 福本 敏氏 会場 オンライン開催（Zoom）	延 124 人	熊本県 歯科衛生士 会
4	【子ども文化会館「歯の健康講座」の開催】 幼児と保護者を対象に「むし歯を作らない健康なお口にしよう！」の講話と歯磨き指導を実施。 日時 令和4年5月11日（水） 会場 熊本市子ども文化会館	乳幼児と 保護者 6組	熊本県 歯科衛生士 会
5	【5ブロック保育士会給食部会合同研修会】 日時 6月1日 場所 国際交流会館ホール 演題「子どもの育ちを考える～授乳から離乳食へ～」 講師母子ネットワーク九州支部 エグゼクティブ講師 歯並びのお医者さん 保育園離乳食調理員 林田香名氏	参加者数 59人	熊本市 保育園連盟
6	【フッ化物洗口の推進】 設置者・園長会等でフッ化物洗口を始めるよう伝えた。 また、第2さくら体育幼稚園ではフッ化物洗口に取り組み（年長120名、年中110名）その成果を設置者・園長会で伝えた。	実施園増加	熊本市 私立幼稚園 ・認定こ ども園協会
7	【おやこの食育教室】 R4.11.15 託麻南校区の親子を対象に、食育ランチョンマットを使用し主食・主菜・副菜を揃えることの大切さについて伝えた。	親子 20 組	熊本市 食生活改善 推進員協議 会
8	【こどもの食育推進ネットワーク】 レシピ集等を活用し、乳幼児期の保護者にはやね・はやおき・朝ごはんの大切さやてづくりおやつについて啓発した。	5 区役所で 実施	
9	【こどもの健康・食生活の支援活動】 子育て世代の地域住民へ、手作りおやつレシピ（3 種）を配付し、作り方、幼児にとってのおやつの目的、おやつの適切な量や食べ方をお話した	941 回 2,703 人	
10	子育てサークル・保育所等において、むし歯予防教室における歯科啓発を実施	13 回 250 人	熊本市 8020 健康 づくりの会

【令和5年度の取組予定】

《 行政・団体等 》

	令和5年度 予定	課・団体
1	令和5年度から妊婦歯科健診が委託のみで実施されるが、各区保健子ども課における妊産婦健康相談は継続する。歯科受診の必要性を啓発する。	健康づくり 推進課 各区 保健子ども課 子ども支援課
2	母子健康手帳交付時、初産婦を対象とした歯科相談を継続実施する。	中央区 保健子ども課
3	県下全域の産科医療機関等に妊婦歯科健診受診勧奨のポスター掲示及び妊婦健診受診者に産科医療機関から啓発リーフレットを渡し歯科受診の勧めを実施してもらうように依頼した(R5.5開始)。	健康づくり 推進課
4	結婚・子育て応援サイトにおいて、引き続き、歯と口腔の健康づくりに関する情報を発信する。	子ども政策課

5	令和 5 年度から「こどものフッ化物塗布事業」を開始する。「歯の健康手帳」を 8 か月児に発行し、手帳には 1 歳児、2 歳児、2 歳 6 か月児にフッ化物塗布が受けられる無料受診券をつけ、むし歯予防に取り組む。	健康づくり 推進課
6	新たに始まるこどものフッ化物塗布事業において 1 歳児で初めての塗布を行うため、1 歳 6 か月児健診でのフッ化物塗布は体験ではなくなる。また、令和 5 年 4 月から 3 歳児健診の際にフッ化物塗布を開始した。	各区 保健こども課 健康づくり 推進課
7	育児相談を R5.9 から再開予定	各区 保健こども課 こども支援課
8	フッ化物洗口未実施園に対し、働きかけを行う。	各区 保健こども課 健康づくり 推進課
9	妊婦歯科健診について受診勧奨し、歯科健診及び個別指導を継続実施する。 令和 5 年度から委託のみになる。	熊本市 歯科医師会
10	研修会予定（7 月 28 日） 演題「運動発達と口の機能発達」（仮） 講師 ゆう地域支援事業園 町村 純子氏	熊本市 保育園連盟
11	こども文化会館での保護者とこどもへのむし歯予防啓発活動 わんぱくまつりでの来場者へのむし歯予防啓発活動	熊本市 8020 健康 づくりの会

【今後の方向性】

- (1) 妊婦歯科健診受診率向上のため、令和 5 年 5 月に産科医療機関においてポスター掲示と妊婦へのリーフレット配付を依頼した。今後も母子手帳の手続きの際に妊婦歯科健診の必要性の啓発を継続し、関係課・関係団体とも協議を重ね、妊婦と生まれてくるこどもの歯と口腔の健康づくりを推進していく。
- (2) こどものむし歯有病状況の改善を図るため、「こどものフッ化物塗布事業」を秋ごろに開始する。

学童期、中・高生期 指標 9～12

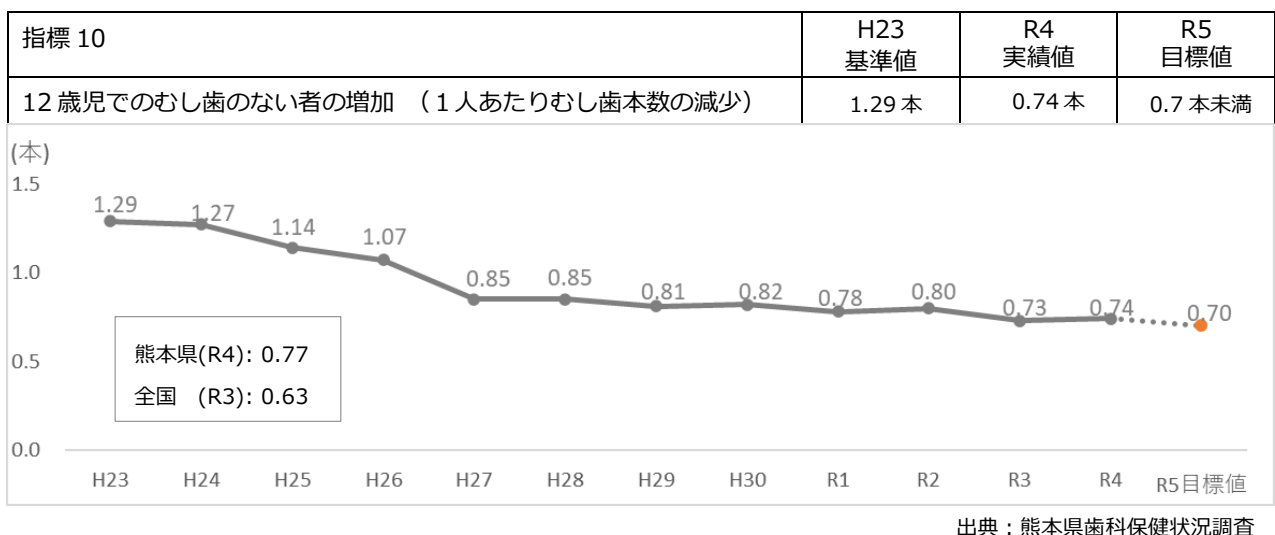
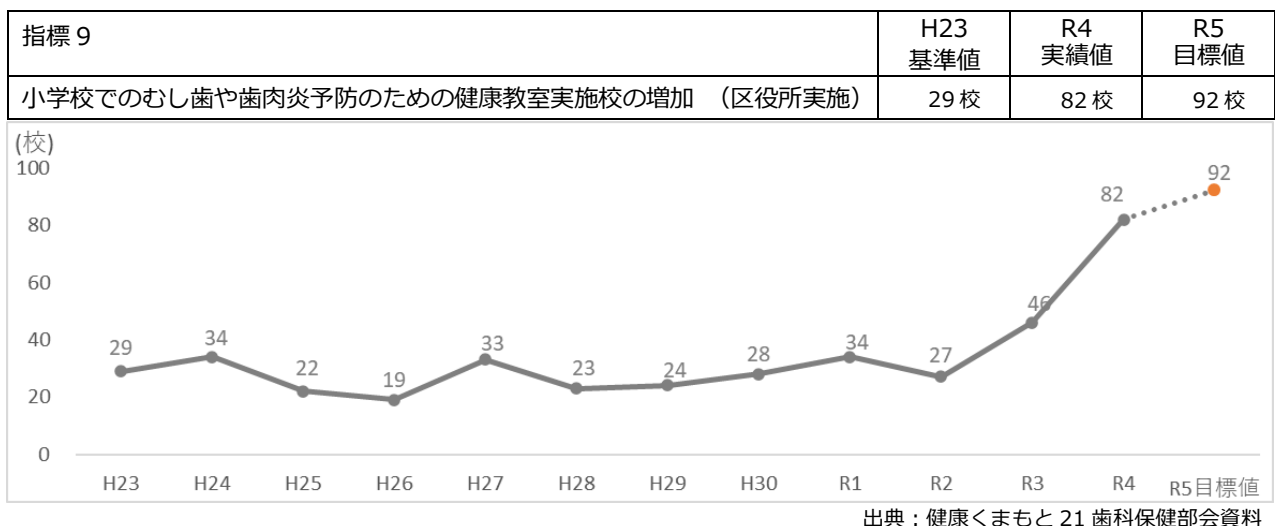
【目標】

学 童 期：乳歯と永久歯の生え変わりが始まる時期であり、自分の口にあった歯みがき習慣を身につけむし歯や歯肉炎のない楽しい学校生活を支援する

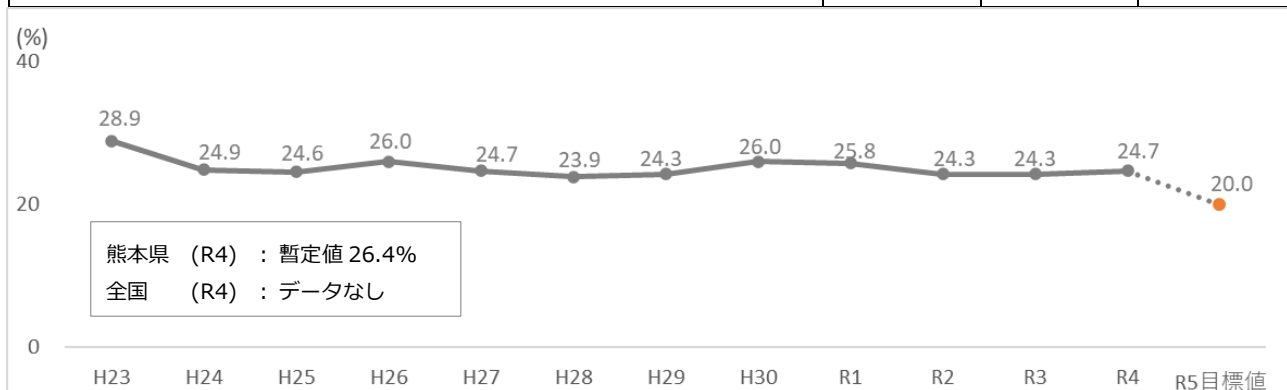
中・高生期：生活習慣の改善によりむし歯や歯肉炎を減少させることができる中高生が増加するよう支援する

【現状と課題】

- (1) 指標 9「小学校でのむし歯や歯肉炎予防教室のための健康教室実施校」については、フッ化物洗口時にフッ化物洗口をする意味やむし歯予防の大切さ、歯みがきの実施についてなども指導しており、増加傾向にある。また、全小学校におけるフッ化物洗口事業の実施を目指していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施校は 83 校であった。
- (2) 指標 10「12 歳児でのむし歯のない者（1 人あたりむし歯本数）」の増加については、ゆるやかに減少しているが、全国と比較すると多い状況である。
- (3) 指標 11「中学生における歯肉に炎症所見を有する者」、指標 12「高校生における歯肉に炎症所見を有する者」は前年度に比べると横ばいであった。

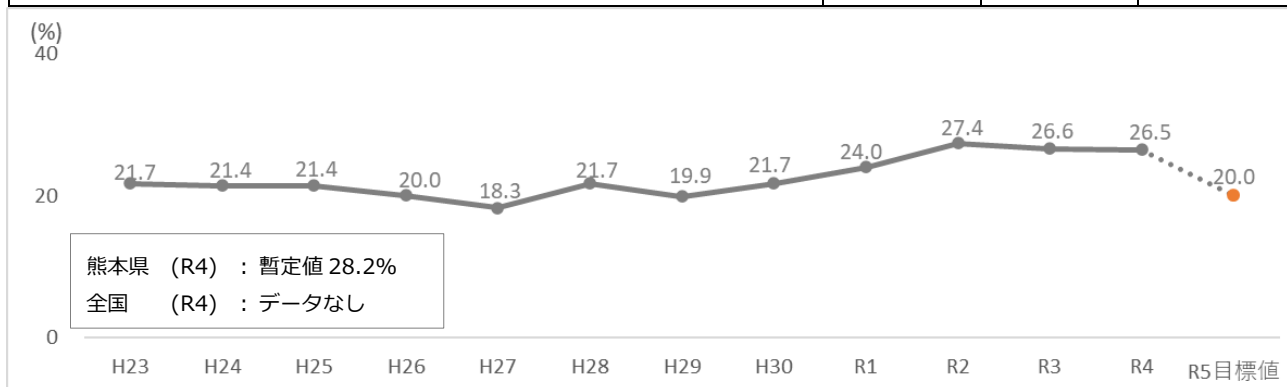


指標 11	H23 基準値	R4 暫定値	R5 目標値
中学生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	28.9%	24.7%	20.0%



出典：熊本県歯科保健状況調査

指標 12	H23 基準値	R4 暫定値	R5 目標値
高校生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	21.7%	26.5%	20.0%



出典：熊本県歯科保健状況調査

【令和4年度の進捗】

《 行政 》

※R4年度の組織名は当時の名称で記載しています

	主な取組	令和4年度 内容	実績	担当課
1	歯科健康教育	小中学生を対象としたむし歯、歯肉炎予防教育を実施 小学校： 82校 103回 9,860人 中学校： 2校 2回 231人	84校 105回 10,091人	各区 保健子ども課
2	学校保健委員会	小中学校からの依頼により学校保健委員会において、学校や家庭における歯と口腔の健康づくりに関する講話や取組等の助言等を実施 小学校：1校 中学校：1校	2校 リモート開催	南区 保健子ども課
3	歯科健康相談	小中学生や保護者に対して実施 電話相談 3回 3人 面接相談 1回 4人	4回 7人	各区 保健子ども課
4	歯科健診	・就学時歯科健診、定期歯科健康診断の実施及び歯科受診勧奨 ・熊本県歯科保健状況調査の協力 ・歯科保健指導・歯みがき指導や保健だより等による啓発	138校 小学校 92校 中学校 42校 高校 2校 特別支援学校 2校	健康教育課
5	歯みがき巡回指導	【歯みがき巡回指導】 歯科医師・歯科衛生士による正しい歯みがきの定着と歯と口腔の健康づくりを推進するための専門的な指導を実施 主催：熊本市学校保健会・熊本市歯科医師会 協力：熊本市教育委員会・熊本県歯科衛生士会熊本市支部 対象：小学3年生及び特別支援学級	小学校4校で実施	健康教育課
6	小学校フッ化物洗口事業	・むし歯予防及び歯と口腔の健全な育成の支援のため、週1回法によるフッ化物洗口を小学校において実施 ・学校安全安心メールを活用した希望調査を開始 フッ化物洗口説明会の開催 教職員：実18校 保護者：実18校	洗口実施 83校	健康づくり推進課 健康教育課 各区 保健子ども課
7	子ども医療費助成制度	中学3年生までを対象に、保険診療による医療費を助成し、子育て家庭の経済的負担を軽減することで、子育てしやすい環境を整備 歯科（外来・調剤）自己負担額 0歳～4歳 無料 5歳～小6 700円（1か月あたり1医療機関） 中1～中3 1,200円（"）	実施	子ども支援課
8	結婚・子育て応援サイト	歯と口腔の健康づくりに関する情報提供を実施	実施	子ども政策課

◆小学校におけるフッ化物洗口の進捗状況と実施計画

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
実 施 校 数	モデル事業				(一部モデル事業 のやり方を継続)							
	1	3	7	7	9	10	21	41	36	46	83	92
							22.8%	44.6%	39.1%	50.0%	90.2%	100%

《 関係団体・機関 》

	令和4年度 内容	実績	団体
1	【歯磨き巡回指導の実施】 市歯科医師会受託事業「小学校歯磨き巡回指導」で、小学校児童を対象にむし歯予防の講話、指導を実施	4校 児童200人(延)	熊本市 歯科医師会 熊本県 歯科衛生士会 熊本市小学校 校長会
2	【学童期のむし歯予防に関する普及啓発チラシの作成】 小学校児童、保護者向け「歯磨き名人になろう」のチラシを作成	—	熊本県 歯科衛生士会
3	【薬物の歯に対する影響】 学校薬剤師が担当校において、薬物乱用防止教育を担当し、薬物の歯に対する影響を説明	熊本市の小・ 中・高	熊本市 薬剤師会
4	【フッ化物洗口事業】(健康づくり推進課) 小学校1・2年生を対象に、各区の保健こども課と学校が協力して実施。(一部全学年実施)	実施校83校 実施率90.2%	熊本市小学校 校長会
5	【世代別に取り組む生活習慣病予防のためのスキルアップ事業(若者世代)】 R4.11.14 中央高校生徒を対象に、食事バランスプレートを使用し、バランスのとれた食事の習慣化や、汁物の食塩濃度の測定法等を伝授し、減塩の必要性の啓発を行った	23人参加	熊本市 食生活改善 推進員協議会
6	【歯みがき教室】 小学校における歯みがき教室にて歯科疾患予防の取組に関する支援を実施	4回 307人	熊本市 8020健康 づくりの会
7	【歯科啓発】 サッカー教室における健康教育にてむし歯予防に関する歯科啓発を実施	1回 14人	
8	【フッ化物洗口】 小学校におけるフッ化物洗口の取組に協力し、学童期におけるむし歯予防の推進を図る	56校	

【令和5年度の取組予定】

《 行政・団体等 》

	令和5年度 予定	課・団体
1	フッ化物洗口の全校実施を目指す	健康づくり推進課 健康教育課 各区保健こども課 熊本市小学校校長会
2	・就学時歯科健診、定期歯科健康診断の実施及び歯科受診勧奨 ・熊本県歯科保健状況調査の協力 ・歯科保健指導・歯みがき指導や保健だより等による啓発	健康教育課
3	結婚・子育て応援サイトにおいて、引き続き、歯と口腔の健康づくりに関する情報を発信する。	こども政策課
4	【薬物乱用防止教室】 学校薬剤師が、口腔への影響について説明	熊本市薬剤師会
5	歯みがき巡回指導を実施予定	熊本市小学校校長会 熊本市歯科医師会 熊本県歯科衛生士会 健康教育課

5	【歯と口腔の健康づくりの啓発】 小中学校における歯みがき教室において、歯科疾患予防の取組に関する支援を実施 【小学校におけるフッ化物洗口事業の受託と支援】 小学校におけるフッ化物洗口事業の取組に協力し、学童期におけるむし歯予防の推進を継続して支援	熊本市 8020 健康 づくりの会
6	こども医療費助成制度 令和 5 年 12 月診療分から助成対象を 18 歳まで拡充し（外来 1,200 円）、調剤費用を無料化する。	こども支援課

【今後の方向性】

- (1) フッ化物洗口事業の全小学校 92 校の実施に向け、実施方法や従事する人材の確保を図る。また、実施学年の拡大に向け検討を行う。
- (2) 学校歯科医等と連携し、歯みがきの習慣化や歯間清掃用具使用の効果など、新しい生活様式の中でも歯科保健指導の充実を図り、児童・生徒の健全な口腔機能の育成を支援する。

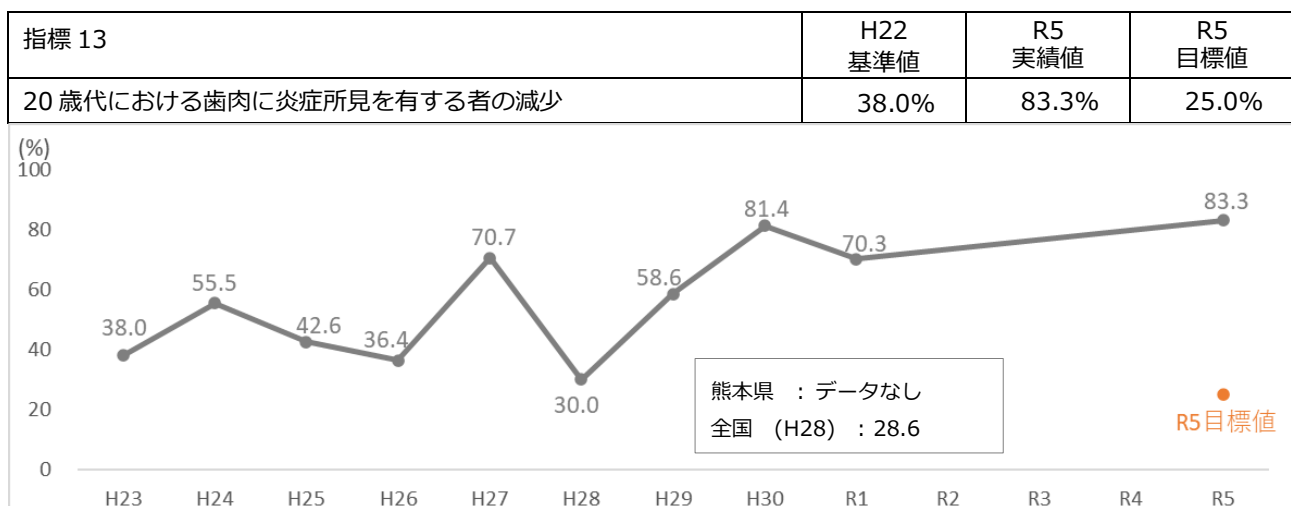
成人期 指標 13～22

【目標】

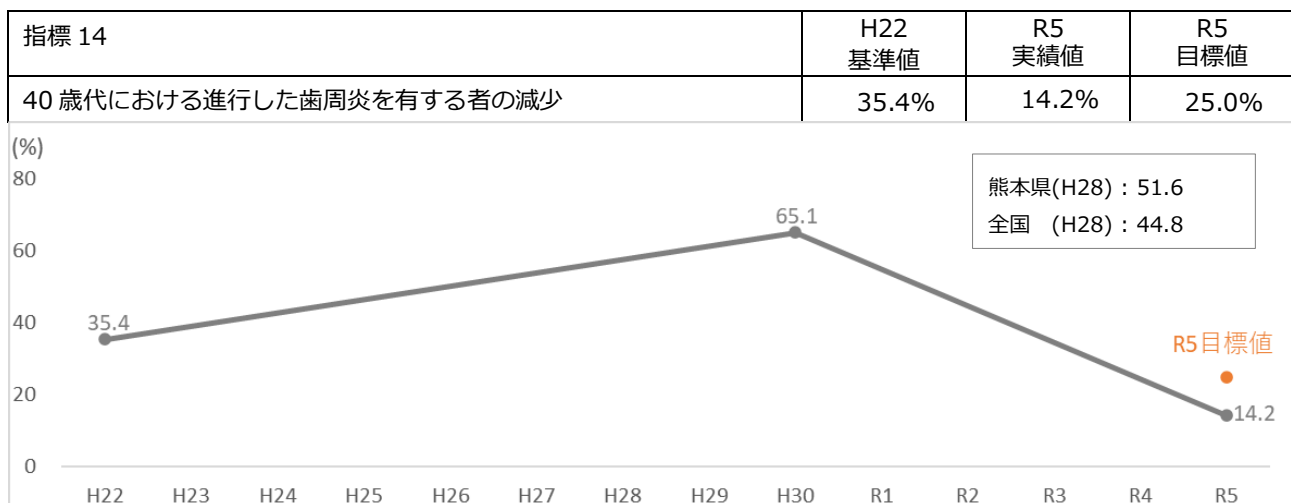
社会生活を送る上で、歯と口腔の健康づくりが重要であることを知り、自分に合った口腔ケアを獲得できるように支援する。

【現状と課題】

- 指標 13「20 歳代における歯肉に炎症所見を有する者」は大きく増加傾向にあるが、指標 14「40 歳代における進行した歯周炎を有する者」と指標 16「40 歳で喪失歯のない者」、指標 17「60 歳代における進行した歯周炎を有する者」、指標 19「60 歳で 24 歯以上の自分の歯を有する者」、指標 20「60 歳代における咀嚼良好者」は目標を達成した。指標 15「40 歳の未処置歯を有する者」、指標 18「60 歳の未処置歯を有する者」は減少傾向にあるものの目標は達成していない。また、節目年齢を対象とした歯周病検診の受診率は、40 歳のみ個別勧奨通知を発送したため、受診者数が増加した。
- 指標 21「定期検診を受ける者」、指標 22「口の健康と喫煙の関係について知っている者」は、ほぼ目標に近づいているが、今後も関係団体や企業等との連携による歯と口腔の健康づくりに関する環境整備や、健康意識の醸成に取り組む必要がある。

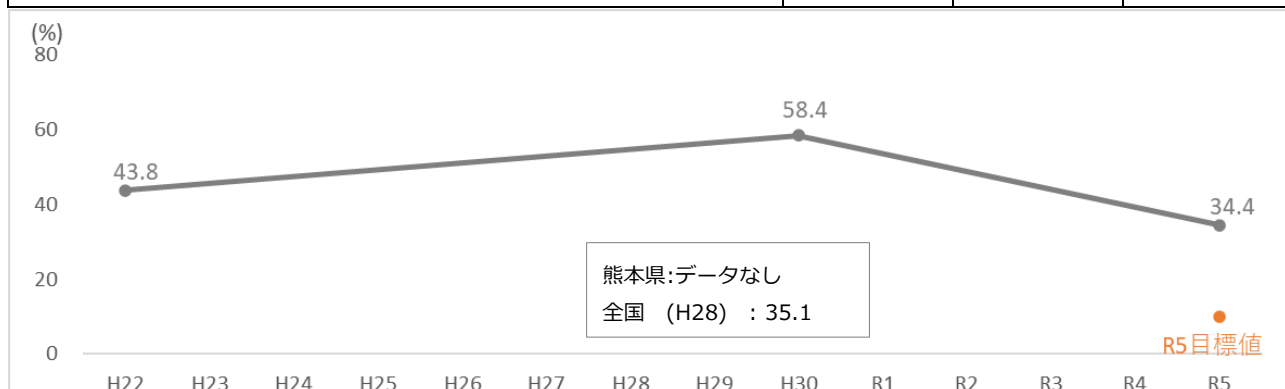


出典：【熊本市】H23～R1 歯たちの健診、R5 成人歯科実態調査 【国】歯科疾患実態調査

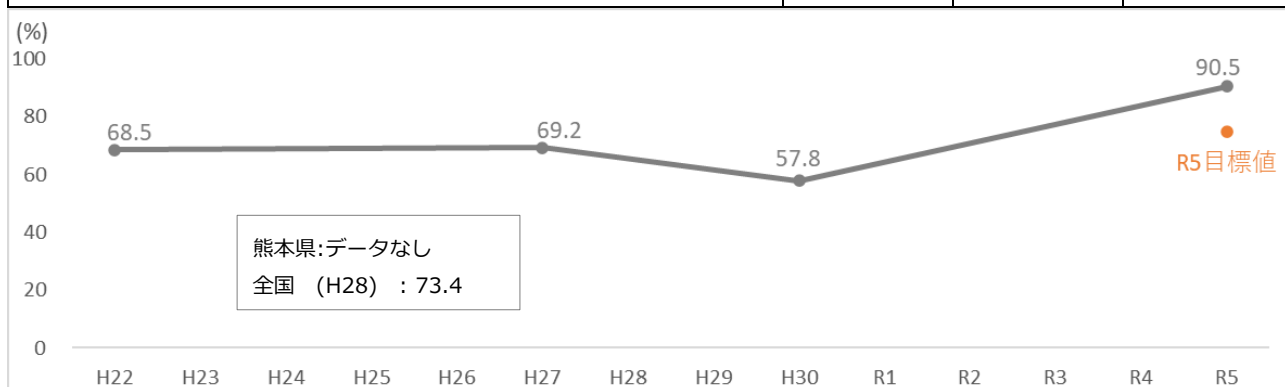


出典：【熊本市】H22、H30 成人歯科健診 R5 データ：R4 歯周病検診、R5 成人歯科実態調査
【熊本県】熊本県歯科保健実態調査 【国】歯科疾患実態調査

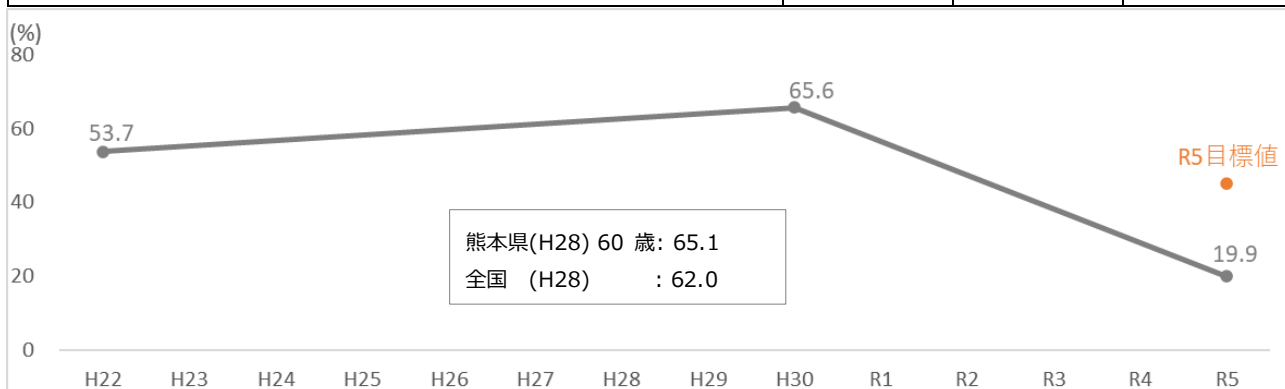
指標 15	H22 基準値	R5 実績値	R5 目標値
40歳の未処置歯を有する者の減少	43.8%	34.4%	10.0%



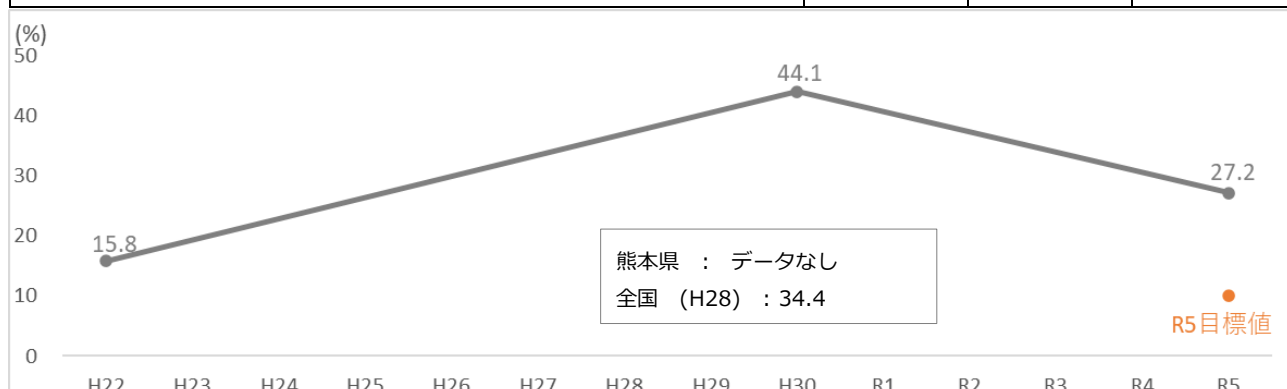
指標 16	H22 基準値	R5 実績値	R5 目標値
40歳で喪失歯のない者の増加	68.5%	90.5%	75.0%



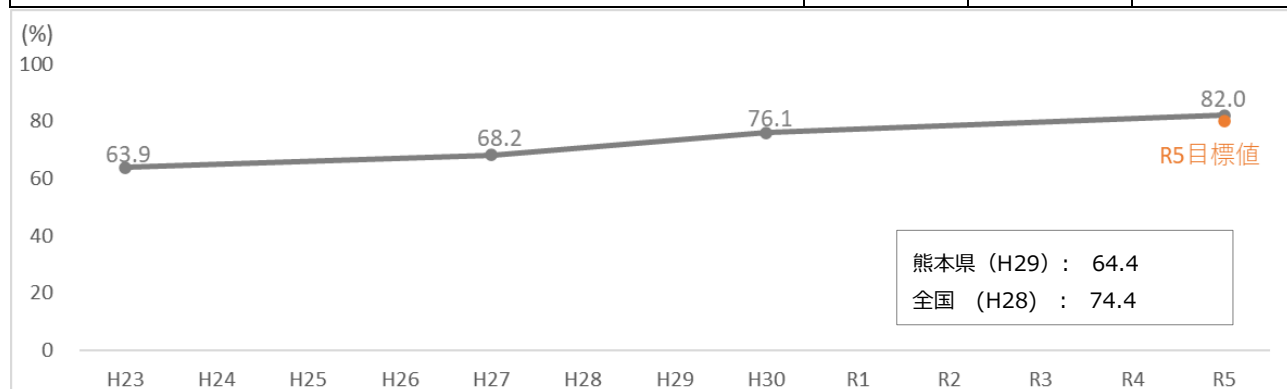
指標 17	H22 基準値	R5 実績値	R5 目標値
60歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	53.7%	19.9%	45.0%



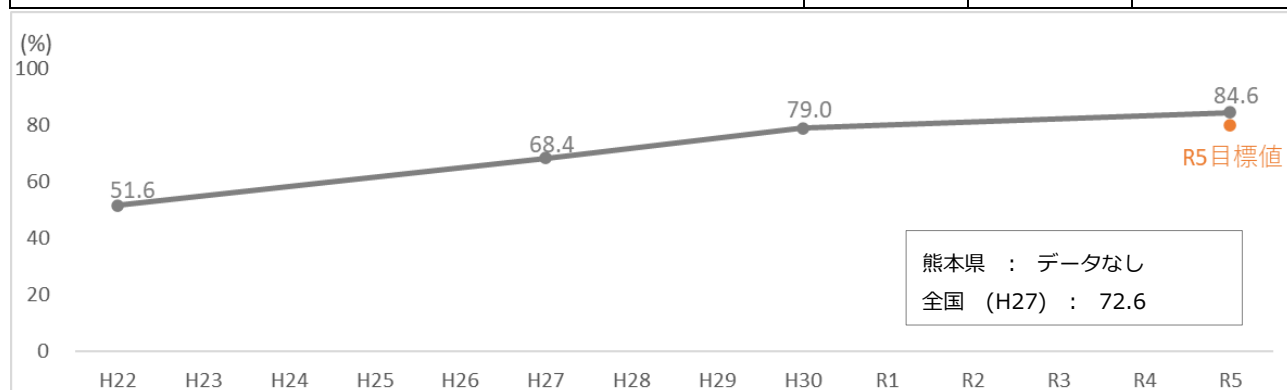
指標 18	H22 基準値	R5 実績値	R5 目標値
60歳の未処置歯を有する者の減少	15.8%	27.2%	10.0%



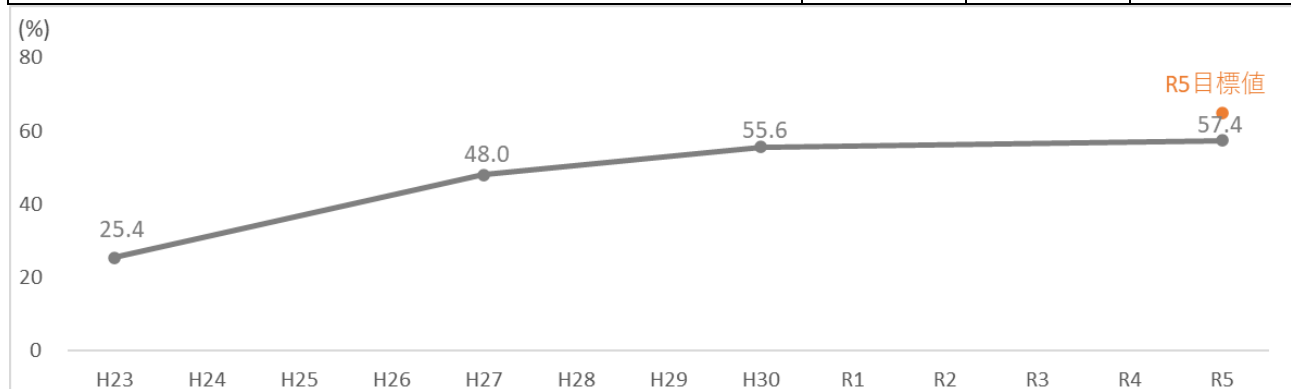
指標 19	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の増加	63.9%	82.0%	80.0%



指標 20	H22 基準値	R5 実績値	R5 目標値
60歳代における咀嚼良好者の増加	51.6%	84.6%	80.0%



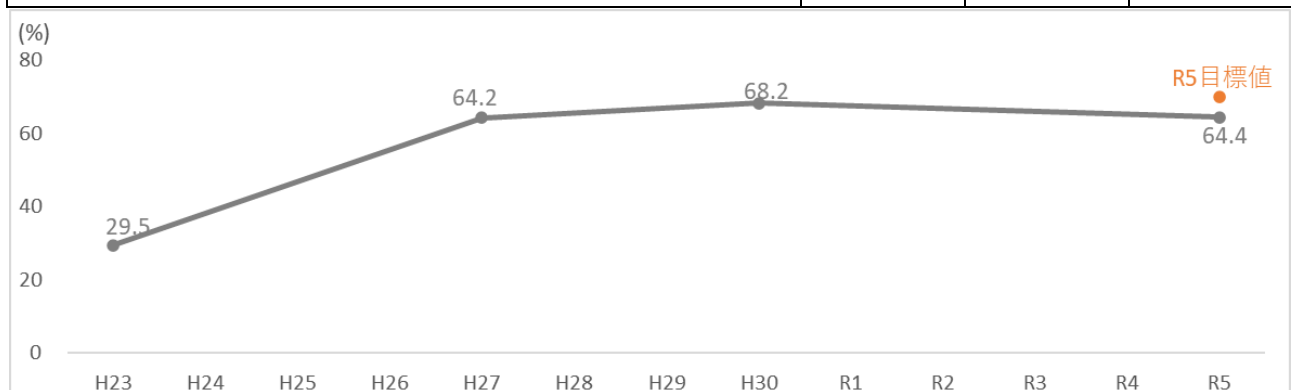
指標 21	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
定期検診を受ける者の増加	25.4%	57.4%	65.0%



出典：【熊本市】H22～H30 健康くまもと 21 市民アンケート

R5 データ：R4 歯周病検診、R5 成人歯科実態調査、R5 健康くまもと 21 市民アンケート

指標 22	H23 基準値	R5 実績値	R5 目標値
口の健康と喫煙の関係について知っている者の増加	29.5%	64.4%	70.0%



出典：健康くまもと 21 市民アンケート

【令和4年度の進捗】

《 行政 》

※R4年度の組織名は当時の名称で記載しています

	主な取組	令和4年度 内容	実績	担当課
1	歯たちの健診	生活習慣が不規則になる時期でもある大学生等を対象に、歯科疾患の予防と口腔衛生意識の向上を目指し、学園祭や区役所実習の学生に対して歯科健診や歯科健康相談を実施	学園祭⇒中止 区実施 12 人	各区 保健子ども課
2	歯周病検診	有病者率が高く歯の喪失をもたらす主要な原因疾患である歯周病の早期発見を促し、かかりつけ歯科医の推進を図る ・対象：40 歳、50 歳、60 歳、70 歳（R4 年度から 50 歳と 70 歳を追加） ・内容：歯・歯肉の状態、歯列・かみ合わせ、顎関節、口腔粘膜、口腔清掃状態など ※受診率向上の取組 受診勧奨チラシを各区役所で配布 大腸がんの個別受診勧奨に併記 市政だより・SNS 等を活用した周知 40 歳のみ個別勧奨通知を発送（7 月）	40 歳 466 人 50 歳 12 人 60 歳 22 人 70 歳 5 人 計 505 人	健康づくり 推進課
		特定健診受診券の同封物の中に歯周病検診について記載したチラシを同封	約 11 万通	国保年金課

3	歯科 健康教育	【生活習慣病予防教室】2回 28人 C K D（慢性腎臓病）や糖尿病予防教室参加者へ歯科疾患との 関連について歯科健康教育、口腔のケアに関する啓発等を実施 【歯科健康教室】26回 368人 歯科疾患の予防等について講話・口腔のケアに関する啓発等を実施	28回 396人	各区 保健子ども課
4	歯科 健康相談	成人期を対象とした歯科健康相談を実施 電話相談 3回 3人 面接相談 20回 177人	23回 180人	
5	健康ポイント 事業	日々の健康づくり活動を行うことでポイントが付与され、ポイントが貯まると特典を受けることができるスマートフォン専用 アプリ「もっと健康！げんき！アップ くまもと」において、歯科健診をポイント対象としている。 対象：定期歯科健診、歯周病検診、後期高齢者歯科口腔健診 内容：40ポイント/回（年3回まで付与）	ポイント獲得 延 4,911人	健康づくり 推進課

◆歯周病検診の実施状況（事業開始：令和元年 10 月） ※R5 年度から名称を節目年齢歯科健診に変更

	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
対象年齢	40 歳、60 歳	40 歳(41 歳)、 60 歳(61 歳)※	40 歳(41 歳)、 60 歳(61 歳)※	40 歳、50 歳、 60 歳、70 歳
受診実績・受診率	5 人(0.03%)	47 人(0.12%)	60 人(0.16%)	505 人(1.33%)
検査結果（要精密者率）	3 人(60.0%)	24 人(51.1%)	47 人(78.3%)	363 人(71.9%)

※令和2・3年度は、新型コロナ経過措置で前年対象者（41 歳・61 歳）も対象。

《 関係団体・機関 》

	令和4年度 内容	実績	団体
1	歯周病検診事業の実施	505 人	熊本市 歯科医師会
2	歯たちの健診事業への協力	中止 (コロナ)	熊本市 歯科医師会
3	【健康サロン】 シティエフエム放送で口腔ケアの大切さについてアナウンス（R4.11.30）	—	熊本県 看護協会
4	【まちの保健室】 歯科衛生士によるミニ講話「健口で健康な毎日」及び健康相談を実施（R5.1.13）	11 人	
5	【協会けんぽスモールチェンジ生活歯援プログラム事業】 県歯科医師会と連携、協会けんぽスモールチェンジ生活支援プログラムで生活習慣病予防を通して全身の健康づくりに効果的な歯科保健指導を実施。	2 事業所 47 人	全国健康保険 協会熊本支部 熊本県 歯科衛生士会
6	【熊本県職員歯科健康診断事業】 熊本県職員歯科健康診断事業・事業所歯科健診で、歯科医師による診断結果を、受診者に説明し、定期歯科健診の受診勧奨を行う。	延べ 84 人	熊本県 歯科衛生士会
7	【熊本産婦人科学会に協力】 熊本産婦人科学会市民公開講座で、歯科無料相談を実施。	来場者 43 人	
8	【県民公開講座の開催】 県民を対象に「ストップ口腔がん！あなたの命を守る口腔がん検診」を開催し、がん検診の重要性とかかりつけ歯科医での定期検診の重要性を啓発。 日時 令和 5 年 3 月 1 8 日（日） 会場 市民会館シアーズホーム夢ホール	県民 85 人	

	講師 熊本大学大学院 生命科学研究部 歯科口腔外科講座 教授 中山 秀樹氏		
9	【副作用について及び歯科受診推奨】 各調剤薬局にて、骨粗鬆薬や降圧剤等の歯に対する副作用を注意・喚起し、心配される患者様に対して歯科受診を推奨している	熊本市の調剤 薬局すべて	熊本市 薬剤師会
10	【若者・働き世代の健康・食生活の支援活動】 若者や働き世代の方に対して、若い頃からの生活習慣病予防や食事バランスガイドの普及のための活動を実施した	1,129 回 2,719 人	熊本市 食生活改善 推進員協議会
11	【情報の提供】 地域や職場などにおける歯と口の健康づくりに関する情報などを提供	15 回 4,254 人	熊本市 8020 健康 づくりの会

【令和 5 年度の実施予定】

《 行政・団体等 》

	令和 5 年度 予定	課・団体
1	【節目年齢歯科健診受診率向上】 ・事業名を歯周病検診から節目年齢歯科健診に変更する ・40・50・60・70 歳の対象者全員に個別勧奨通知を実施する（7 月発送済み） ・市政だよりや SNS 等の発信を継続し、受診率向上を目指す	健康づくり 推進課
2	節目年齢歯科健診については、例年どおり実施	熊本市 歯科医師会
3	副作用について及び歯科受診推奨を継続して実施	熊本市 薬剤師会
4	熊本県歯科医師会及び熊本県歯科衛生士会と連携した生活歯援プログラム事業の継続実施	全国健康保険 協会熊本支部
5	まちの保健室における健康相談を実施予定	熊本県 看護協会

【今後の方向性】

- （1）地域や企業と連携し、むし歯や歯周病予防のための生活習慣の改善や定期歯科健診による継続的な口腔管理を行う市民の増加を図る。
- （2）健康日本 21 において提言されているように、喫煙が歯周病のリスク因子となることや自覚症状のない働き世代へ歯周病検診を受診することの意義を保健医療関係者と協力して啓発していく。

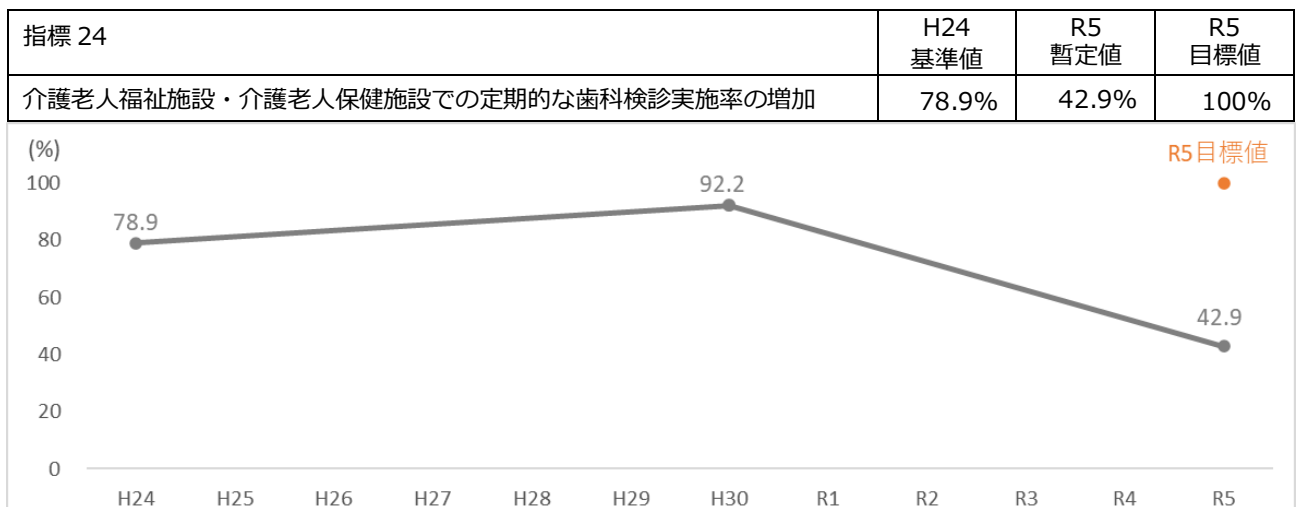
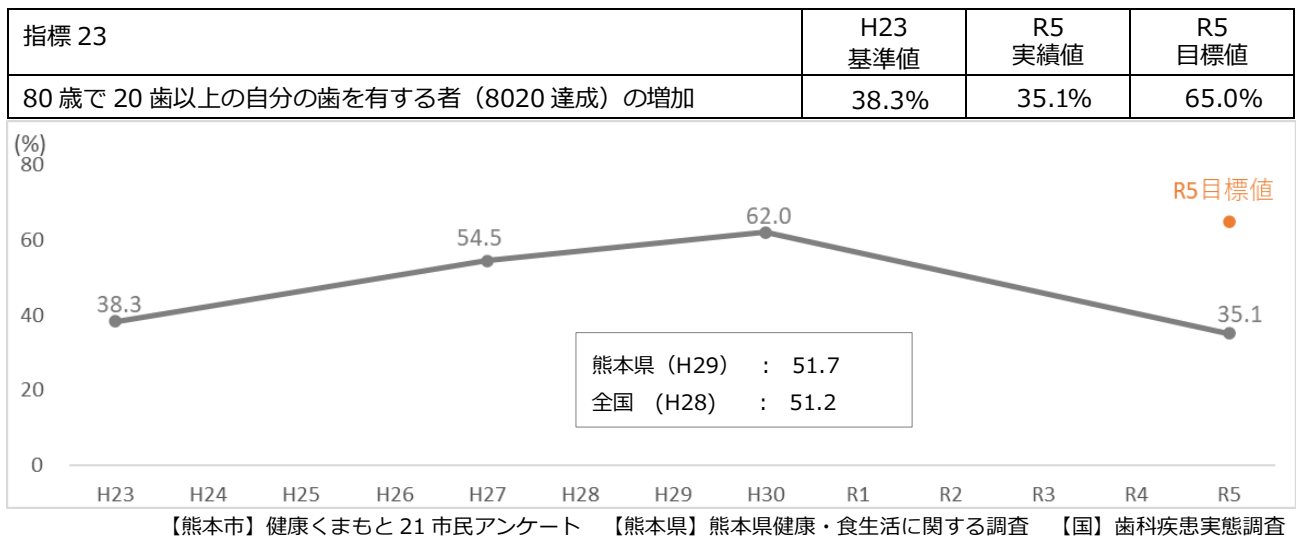
高齢期 指標 23～24

【目標】

歯の喪失等による口腔の機能低下を防止し、「食えること」を通じて積極的に社会活動ができるように支援する。

【現状と課題】

- (1) 後期高齢者の口腔機能低下による誤嚥性肺炎や生活習慣病等の重症化予防を図るため、歯・歯肉の状態、口腔内の衛生状態や咀嚼を含む口腔機能をチェックすることにより、被保険者の健康の保持増進を図ることを目的に後期高齢者歯科口腔健診を実施している。受診率は 1.08%（暫定値）と低い状況である。
- (2) 指標 23「80 歳で 20 歯以上の自分の歯を有する者（8020 達成）」が減少傾向にあり、目標達成していない。市民が 8020 の達成に取り組めるように、引き続き 8020 運動を推進する。



【令和4年度の進捗】

《 行政 》

※R4年度の組織名は当時の名称で記載しています

	主な取組	令和4年度 内容	実績	担当課
1	8020表彰	満80歳以上で自分の歯を20本以上有する市民（8020達成者）を表彰するため事前審査を実施。コロナ禍のため表彰式は開催せず表彰状を送付	54人 （区役所実施10人＋歯科医師会44人）	健康づくり推進課 各区 保健子ども課
2	歯科健康教育（8020教室）	高齢者を対象に地域において、口腔機能向上や口腔衛生の必要性について歯科健康教育を実施	32回 612人	各区 保健子ども課
3	歯科健康相談	高齢者を対象とした歯科健康相談を実施 電話相談 8回 8人 面接相談 17回 105人	25回 113人	
4	後期高齢者歯科口腔健康診査	後期高齢者の口腔機能・生活習慣病・誤嚥性肺炎等の疾患予防、改善を図るため、県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け実施 ※H28年6月開始 ・対象：75歳以上 ・内容：歯・歯肉の状態、口腔内の衛生状態、嚥下機能や口腔乾燥を含む口腔機能をチェック ・実施医療機関：303箇所 ※受診率向上の取組 ・前年度受診者への受診券の送付し、継続受診を図る ・前年度、健診・医療機関の受診なし、介護認定なし等の健康状態不明者へも通知し受診勧奨を実施 ・新規加入者へ受診勧奨（75歳到達者へ受診券を発送） ・普及啓発：ラジオ放送による周知	受診率1.08% （暫定値） 981人	国保年金課
5	短期集中予防事業啓発事業	後期高齢者結果より、短期集中予防事業サービスの該当者へ事業を紹介	319人 （口腔該当者数）	
6	短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）	事業所への委託により「運動機能向上」「口腔機能向上」「栄養改善」の各プログラムを提供する短期集中予防サービスを実施。	事業所数25か所 （うち口腔機能向上プログラム実施事業所5か所） 利用回数66回 申込人数39人	高齢福祉課
7	介護予防啓発リーフレット作成	高齢者の生活不活発やフレイル等を予防するため、市独自の啓発用リーフレットを作成。リーフレット中にフレイル予防（口腔衛生や栄養等を含む）に関する情報を掲載し高齢者の健康リテラシーの向上を図る	啓発リーフレット 5,000部増刷	
8	介護認定審査会	介護保険法第27条及び32条の規定に基づき、要介護（要支援）認定を受けようとする被保険者の要介護度の審査判定（介護認定審査会）を実施 ※審査会は38合議体、1合議体6～7名の委員で構成。歯科医師5名、歯科衛生士3名を審査会委員として委嘱している	介護認定審査会開催回数 827回	
9	自立支援型地域ケア会議	介護保険法第115条の45第2項第3号及び第115条の48の規定に基づき実施する地域ケア会議において、自立支援型ケアマネジメントの視点で専門職としての助言を実施 ※保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者として歯科医師又は歯科衛生士が含まれる	自立支援型地域ケア会議開催回数211回	介護保険課
10	オーラルフレイル研修会	ケアマネジャー等を対象にオーラルフレイルに関する研修の実施	参加者85名 （居宅介護支援事業所、地域包括支援センター）	
11	出前講座	「舌を鍛えて健康長寿～ベロタッチ健康法～」 実施団体：口からの健康づくり歯っぴーかむカム	13回	生涯学習課

《 関係団体・機関 》

	令和4年度 内容	実績	団体
1	【8020表彰】 8020表彰について、会員へ周知徹底し対象者の推薦を行うとともに、会員歯科医院において事前審査を実施する。	44人	熊本市 歯科医師会
2	【後期高齢者歯科口腔健康診査事業】 後期高齢者（75歳以上又は65歳以上で一定の障がいがあると認められた者）を対象とした歯科健診	1,017人	
3	【自立支援型地域ケア会議】 専門職として歯科医師・歯科衛生士による助言を行う。	13事例 歯科医師会68回 歯科衛生士会66回	熊本市地域包括支援センター連絡協議会 熊本市 歯科医師会 熊本県 歯科衛生士会
4	【歯科衛生士の資質向上に向けて】 高齢者の自立支援における歯科衛生士の資質向上を図るため人材育成研修会、意見交換会を実施。	1回	熊本県 歯科衛生士会
5	【地域での介護予防事業】 校区福祉ネットワークとの連携・ささえりあからの依頼で、オーラルフレイル予防を目的としたお口の健康講座を実施。	2回 地域の高齢者 延30人	
6	【義歯についての講習会・研修会】 義歯の取り扱い方や疑問点を解決する為に実施	2回 25人	熊本市 歯科技工士会
7	【副作用について及び歯科受診推奨】 各調剤薬局にて、骨粗鬆薬や降圧剤等の歯に対する副作用を注意・喚起し、心配される患者様に対して歯科受診を推奨している	熊本市の調剤薬局すべて	熊本市 薬剤師会
8	【サロンでの口腔指導】 ・サロンでかみかみ体操や口腔運動の指導を通し、口腔機能の維持向上を促進 ・基本チェックリストで口腔機能の低下の方へ短期集中口腔機能向上事業を推進	適宜	熊本市地域包括支援センター連絡協議会
9	【「多職種で取り組むフレイル予防」シンポジウム】 医師による講演の他、看護師、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士の立場からサルコペニア、低栄養予防のための取組を学び、看護師を通して支援を行った。（R4.8.6）	57人	熊本県 看護協会
10	【健康サロン】（再掲） シティエフエム放送で口腔ケアの大切さについてアナウンス（R4.11.30）	—	
11	【まちの保健室】（再掲） 歯科衛生士によるミニ講話「健口で健康な毎日」及び健康相談を実施（R5.1.13）	11人	
12	【すこやか食生活改善講習会】 地域住民を集めて、高血圧予防をテーマに、健康増進のためのレシピの普及と調理実習を開催	92校区で実施 92回 891人	熊本市 食生活改善推進員協議会
13	【世代別に取り組む生活習慣病予防のためのスキルアップ事業（高齢世代）】 講習会や個別訪問により、自宅に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者に対して、低栄養やフレイル予防について資料を配付し説明を実施	3回 67人	
14	【生涯骨太クッキング】 R4.10.11 「メタボ予防からフレイル予防への切り替え」をテーマに講話等を行った。	35人	
15	【高齢者の健康・食生活の支援活動】 高齢者サロン等と連携し、高齢者を対象にフレイル予防のための食生活や日常生活についてのお話についての活動を実施した	3,129回 7,157人	
16	【唾液腺マッサージやお口の体操】 高齢者サロンや老人会等において、お口の機能を高める口腔体操を実施	114回 1,351人	熊本市 8020健康づくりの会

【令和5年度の取組予定】

《 行政・団体等 》

	令和5年度 予定	課・団体
1	【8020表彰】 事前審査を市歯科医師会会員歯科診療所または区役所保健こども課において実施。 感染拡大防止のため表彰式は開催せず、表彰状は郵送する。	熊本市歯科医師会 各区保健こども課 健康づくり推進課
2	オーラルフレイル予防や口腔機能向上に関する啓発を高齢者サロン等において実施する	各区保健こども課
3	【後期高齢者歯科口腔健診】 関係機関と連携して、健診の啓発を行う。	国保年金課
4	【短期集中予防事業啓発事業】 令和5年度から運動リスクも対象者として追加する。	
5	後期高齢者健診の結果により、口腔機能低下が疑われる者に対して、短期集中予防サービスの利用を勧奨するなど、他課と連携しハイリスク者へのアプローチを継続する。	高齢福祉課
6	・オーラルフレイル、口腔内チェックシートの活用方法についての研修会を実施予定 ・介護認定審査会、自立支援型地域ケア会議を継続して開催	介護保険課
7	庁内各課および関係機関が実施する講座について、一覧で周知し、生涯学習を通して歯と口腔の健康づくりに取り組む	生涯学習課
8	・自立支援型地域ケア会議を15事例予定 ・サロンでかみかみ体操や口腔運動の指導を通し、口腔機能の維持向上を促進する取組を継続 ・基本チェックリストで口腔機能の低下の方へ短期集中口腔機能向上事業を推進する取組を継続	熊本市地域包括支援 センター連絡協議会
9	まちの保健室における健康相談を実施予定	熊本県 看護協会
10	【施設対象の講習会】 施設職員を対象に講習会を開催し、義歯の種類、取り扱い方やメンテナンスの方法等を説明	熊本市 歯科技工士会

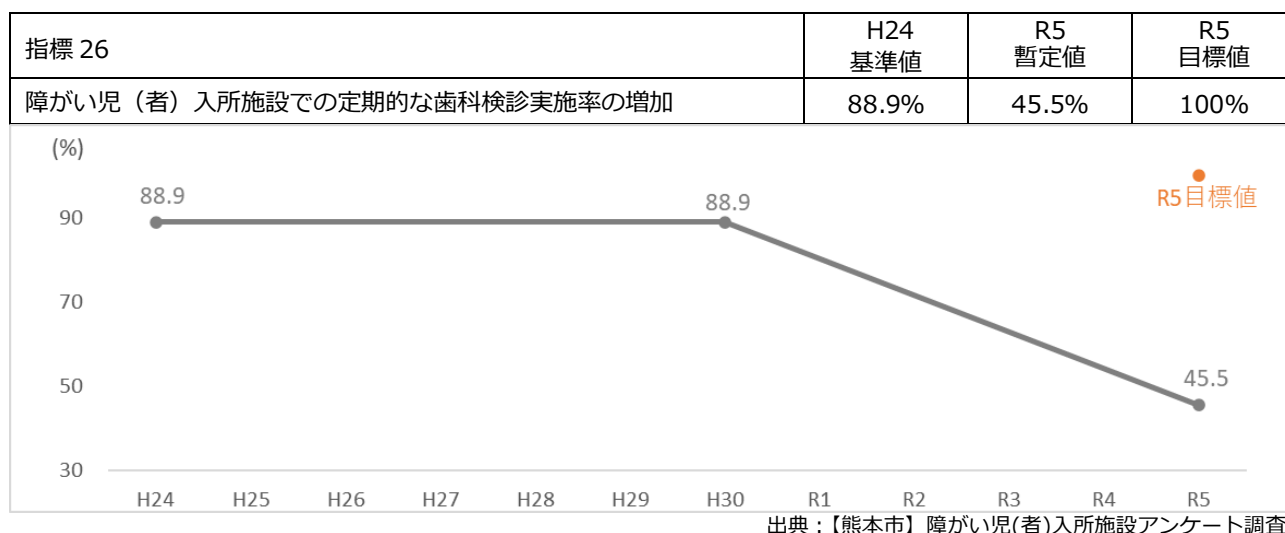
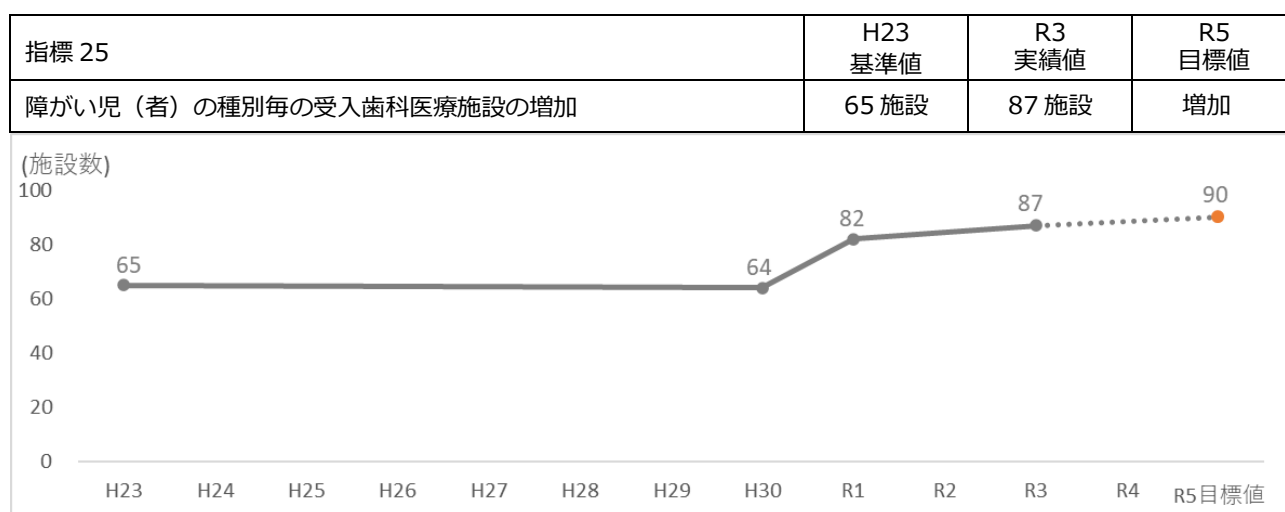
【今後の方向性】

- (1) 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に伴い、高齢者の「通いの場（サロン）」や地域包括支援センターを拠点に、オーラルフレイルや歯周病予防に関する啓発を強化し、後期高齢者歯科口腔健診の受診率の向上を図る。また、歯科口腔健診でオーラルフレイルを早期に発見し、歯科治療や口腔機能訓練を行うことで全身のフレイル予防につなげ、健康寿命の延伸を図る。

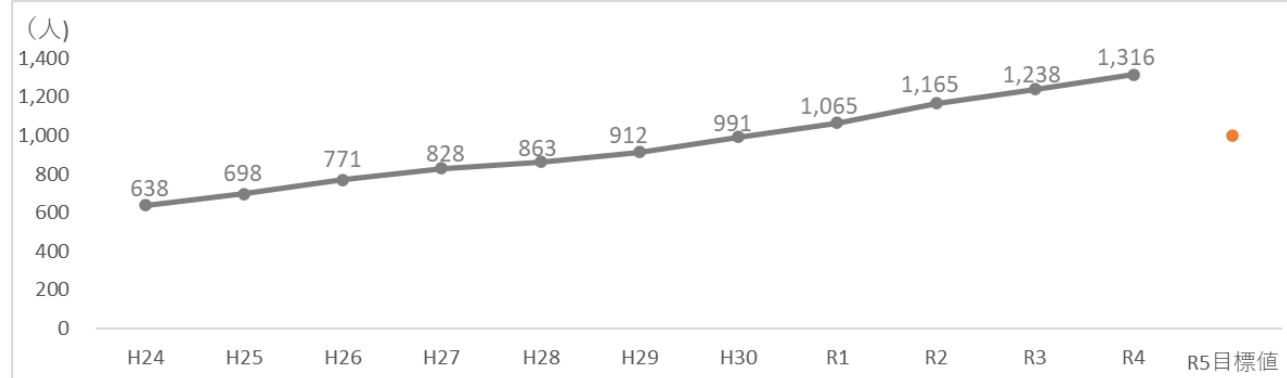
「歯と口腔の健康づくりを支え・守るための環境づくり」について 指標 25～27

【現状と課題】

- (1) 指標 27「8020 推進員の育成数(累計)」は目標を達成したものの、8020 推進員のいない校区や少ない校区がある。校区を中心とした地域活動を展開していくためには、各校区に 8020 推進員を配置することが望まれる。コロナ禍においても、市民が安心して受講できるよう自宅学習による受講や感染防止対策を講じて開催するなど工夫を行うとともに、地域の関係組織に働きかけ、育成講座の周知を図る必要がある。
- (2) 災害時は口腔衛生の悪化や栄養不足、疲労などによる免疫力の低下から誤嚥性肺炎や口内炎など、お口のトラブルが起きやすくなる。災害時の備えとして、平時から口腔衛生用品を準備し、日頃から歯やお口のケアを欠かさず、口腔内の環境を整えておくことが必要である。



指標 27	H24 基準値	R4 実績値	R5 目標値
8020推進員の育成数の増加（累計）	638 人	1,316 人	1,000 人 (R 元年度 達成済み)



出典：【熊本市】8020 推進員育成事業

【令和4年度の進捗】

《 行政 》

※R4 年度の組織名は当時の名称で記載しています

	主な取組	令和4度 内容	実績	担当課
1	8020推進員育成事業	8020推進員育成講座を実施し、8020推進員を育成 受講者 実79人 修了者 実78人	78人	各区 保健子ども課 健康づくり 推進課
2	8020推進員活動支援	8020推進員に口腔のケアや歯科疾患予防のアドバイス等を行い、地域での歯と口腔の健康づくり啓発活動を支援する。 支援回数 520回 活動者数 2,267人	520回 2,267人	各区 保健子ども課 健康づくり 推進課
3	8020推進員スキルアップ研修会	目的：知識と技能向上と推進員同士の連携を図るため 対象：8020推進員育成講座受講生及び8020健康づくりの会員等	7回 222人	
4	歯と口の健康週間	毎年6月の「歯と口の健康週間」において、地域住民を対象に、歯科保健普及や災害時の口腔のケアの啓発等の活動を実施	79回 3,282人	
5	熊本市民健康フェスティバル	・健康づくりに関する様々な情報を発信し、市民の健康づくりに寄与することを目的に保健医療福祉関係団体と開催 ・歯と口腔の健康づくりに関して、歯周病検診の案内、災害の備え、8020推進員の活動紹介を実施	中止 (コロナ)	健康づくり 推進課
6	熊本県歯科保健状況調査	目的：対象施設の歯科保健状況を把握し施策に反映させるため、県の調査に協力 対象：保育所・幼稚園・認定こども園・市立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校、熊本大学附属幼稚園・小中学校	359施設	
7	校区単位の健康まちづくりや地域のイベント等での啓発	校区単位の健康まちづくりイベントや地域のイベント等において、歯科健康相談等を実施し、歯科保健に関する啓発を実施	19回 40校区 4,553人	各区 保健子ども課

8	障がい児及び発達に不安のある児のむし歯予防事業	・パンフレットを各掲示板に掲載し窓口にも設置 ・相談時、必要に応じて保護者へ情報提供を行う ・パンフレットを活用して歯の健康について説明し意識向上を促していく	—	子ども発達支援センター
9	(歯っぴー事業)	身体障害者手帳・療育手帳や「歯の健康ノート」を保持する未就学児を対象として、フッ化物塗布や口腔衛生指導を実施	22回 延 50 人	各区 保健子ども課
10	障がい者通所施設での歯科健康教育	障がい者通所施設において、利用者や施設職員に対し口腔のケアの必要性や口腔機能に関する歯科健康教育を実施	0回 0 人	各区 保健子ども課
11	児童発達支援サービス事業	児童発達支援サービスを利用者に対する歯科相談を実施 (※保育所等でのデイスサービス)	1回 4 人	健康づくり推進課
12	障がい児(者)口腔ケア地域リーダー育成事業	障害者支援施設 2 か所に対し検診及び口腔のケア・施設職員への技術的指導を実施	参加者 60 人	障がい保健福祉課
13	休日夜間歯科当番医事業	休日の夜間に歯科当番医を設置、急患の歯科診療を実施	受診者数 115 人	医療政策課
14	年末年始急患歯科診療事業	年末年始期間中、24 時間診療可能な歯科当番医を設置、急患の歯科診療を実施	受診者数 290 人	
15	口腔保健センター負担金	障がい児・者の歯科診療体制の強化のため、熊本県歯科医師会口腔保健センターへ県が実施する補助金の一部を負担	診療件数 3,487 件 うち熊本市 2,594 件	
16	口腔のケアに関する啓発事業	むし歯予防講話や口腔のケアに関する体験等を実施し、区民の口腔衛生に対する関心を高める。 対象者：JR 九州熊本総合車両所職員 内容：講話、歯周病リスクチェック、歯みがき指導等 実施回数 2 回 69 人	2回 69 人	南区 保健子ども課
17	災害の備えに対する啓発	地域のイベントや健康教育、広報などによる啓発	14回 302 人	各区 保健子ども課 健康づくり推進課
18	SNS 等を活用した啓発	各ライフステージに応じた歯科保健に関する情報の記事掲載 ※SNS や広報誌、ラジオ、テレビなどにおける広報	25 回	各区 保健子ども課 健康づくり推進課

《 関係団体・機関 》

	令和 4 年度 内容	実績	団体
1	歯と口の健康週間事業期間での無料歯科健診	27 人	熊本市 歯科医師会
2	歯と口の健康週間における催事「2022 歯の祭典」	267 人	
3	【8020 推進員への支援】 補助金交付・8020 推進員育成講座修了証書交付式での講演	実施	
4	HappyLife 歯科啓発カードによる無料歯科健診の実施 ※令和 4 年度で終了	298 人	

5	【歯の祭典への参加】 市歯科医師会主催 2022 歯の祭典に歯科衛生士コーナーを出展、地域住民を対象に歯科啓発を実施。 日時 令和4年6月5日(日) 会場 ひぶれす広場	地域住民 212人	熊本県 歯科衛生士会
6	【結核・ガン予防キャンペーン参加】 熊本県総合保健センター主催の「結核・ガン予防キャンペーンヘルシーくまもと」に健康を守る婦人の会で参加。 日時 令和4年9月23日(金) 会場 熊本市動植物園	—	
7	【スペシャルオリンピックス日本・熊本に参加】 スペシャルオリンピックス日本・熊本における歯科検診事業でスペシャルオリンピックスのアスリートに歯科保健指導を実施。 日時 令和4年10月2日(日) 会場 熊本市総合体育館	延20人	
8	【笑顔ヘルCキャンペーンに参加】 笑顔ヘルCキャンペーンに歯科コーナーを出展、地域住民を対象に歯科に関する質問・相談など受け、歯科啓発を実施。 日時 令和4年11月26日(土) 会場 ひぶれす広場	地域住民 50人	
9	【けんぐん食と健康まつりに参加】 けんぐん食と健康まつりに歯科コーナーを出展、地域住民を対象に歯科に関する質問・相談など受け、歯科啓発を実施。 日時 令和4年11月26日(土) 会場 ピアクレス健軍商店街	乳幼児 35人 児童 43人 成人 80人 高齢者 94人	
10	【障がい者(児)口腔地域リーダー育成事業に協力】 市歯科医師会受託事業「障がい者(児)口腔地域リーダー育成事業」で施設入所者に歯科保健指導と口腔ケアを実施。	延2回 延61人	
11	【マスコミによる啓発】 「熊本シティ FM 健康サロン」「かたらんね」に出演、歯・口腔の健康に関する普及啓発を行う。	延2回	熊本市 歯科技工士会
12	【歯の祭典への参加】 技工物の相談・展示 石膏フィギアの配布	約60人	
13	【けんぐん食と健康まつりに参加】 技工物の相談・展示 石膏フィギアの配布	約30人	熊本県 看護協会
14	訪問看護の際に、口腔ケア並びに保健指導を実施(全世代の対象者に実施)	随時対応	
15	【情報誌「りんどう」の発行】(年1回) ・「よく噛んでおいしく食べよう!~健康な歯と口でバランスのとれた食事を~」をテーマに、各ライフステージのポイントと食べ方の工夫を分かりやすくまとめたリーフレットを作成し、情報発信を行った。	500部配布	熊本県 栄養士会
16	【バッククッキング地域講習会】 災害時における家庭や施設での「食の自助力」向上と、防災知識を次世代へつなぐことを目的に、食料備蓄やバッククッキング等について講話等を実施	8回 145人	熊本市 食生活改善 推進員協議会
17	【牛乳飲用消費拡大事業】R4.11.18 牛乳消費拡大のため、牛乳・乳製品を使ったレシピ開発を実施	7人	
18	【市主催事業への協力】 食生活改善推進員の養成講座の中で、受講生に対して活動についての話や交流会に参加し、食のボランティア養成に協力	5区役所で 実施	

19	【推進活動】 8020 推進員育成講座への支援やスキルアップ研修会などを開催し、地域における8020 運動の推進を図る	23 回	熊本市 8020 健康 づくりの会
----	--	------	-------------------------

【令和 5 年度の実行予定】
《 行政・団体等 》

	令和 5 年度 予定	課・団体
1	【「8020 推進員育成講座」の開催及び受講奨励】 自治会等地域の関係組織に働き掛け、8020 推進員育成講座の受講奨励を8020 推進員と協働で実施。8020 推進員育成講座については、自宅学習を含め実施。 修了者全員が8020 健康づくりの会に入会し地域活動に取り組んでいただけるよう支援。	健康づくり推進課 各区保健こども課
2	毎月 8 日「いい歯の日」に歯や口腔の健康づくりに関する情報を LINE・Twitter 等や健康アプリを活用して広く周知し、歯の健康に対する関心を高める。	健康づくり 推進課
3	【地域歯科保健研修会】 口腔のケアや口腔機能向上の重要性について医療関係者、介護支援専門員及び施設職員等の理解を促進し、各現場において口腔衛生・口腔機能に関する取組の充実を図ることを目的とした研修会を令和 6 年 2 月に開催予定。	
4	口腔のケアの重要性の啓発や健康ポイント事業の周知を行うとともに、歯科保健意識の向上を図る	各区 保健こども課
5	【始めようフッ化物健口】 あらゆる機会を捉えて「始めようフッ化物健口」について啓発する	関係各課 関係機関
6	【災害の備えに対する啓発】 地域イベント等を活用して災害時における健康管理・疾病予防（感染症予防・誤嚥性肺炎予防と口腔衛生等）に関する啓発を実施	各区 保健こども課 健康づくり推進課
7	【障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業】 感染拡大防止対策を講じたうえで口腔ケア地域リーダー育成事業実施予定	障がい福祉課
8	【「歯っぴー事業」の周知】 引き続き歯っぴー事業について情報提供を行い、歯の健康について意識向上を促す。	こども発達 支援センター
9	【8020 推進員育成及び活動の支援】 8020 推進員の育成・活動について周知に協力 【障がい児（者）口腔ケア事業】 障がい児（者）入所施設での歯科健診等の実施	熊本市 歯科医師会
10	訪問看護の際に、口腔内ケア並びに保健指導（全世代の対象者に実施）	熊本県 看護協会
11	下通りアーケードでの歯と口の健康づくりに関する啓発活動 健康フェスティバルでの歯と口の健康づくりに関する啓発活動	熊本市 8020 健康 づくりの会

【今後の方向性】

- (1) 8020 推進員による地域活動の充実を図るため、地域の関係組織や団体等と連携協力し、新たな人材の確保と地域活動に対する理解促進に努め、全校区に8020 推進員の配置を目指す。
- (2) 熊本市歯と口腔の健康づくり推進条例の施行に伴い、市民・行政・団体等の役割を明らかにするとともに、協働を図りながら歯科保健の取組を強化する。

その他「新型コロナウイルス感染症関連の令和4年度取組」について

※R4年度の組織名は当時の名称で記載しています

	コロナ関係の令和4年度主な取組	課・団体
1	熊本県歯科医師会口腔保健センターが、新型コロナウイルス感染症対策として機器を更新するにあたり熊本県と連携し補助を実施 診療件数：3,487件（うち熊本市2,594件）	医療政策課
2	（再掲）感染拡大防止対策を図るため、中央区まちづくり事業講演会をオンラインとのハイブリッド式で開催 Teams参加 3回 15人	中央区保健子ども課
3	保育所や幼稚園、中学校等で口閉じみがきのチラシを周知 23施設	西区保健子ども課
4	各調剤薬局にて、感染防止のための注意喚起を行い、口腔内の衛生の必要性について説明	熊本市薬剤師会
5	市歯科医師会受託事業歯磨き巡回指導実施について、新型コロナウイルス感染防止対策の会議を歯科医師会、行政と実施し、内容の協議を行う。	熊本県歯科衛生士会
6	【南部ブロック給食部会研修会】 日時 6月9日 場所 アスパル富合 「講話・実践」手指衛生、手洗い実践、皮膚のケア、洗浄の基礎知識 参加者数 23人	熊本市保育園連盟
7	設置者・園長会で新型コロナ感染状況を報告し合い、感染防止対策について情報交換した。各園の効果的な対策を確認し合い、利点を各園で取り入れた。	熊本市私立幼稚園・認定こども園協会
8	会で作成した歯科情報QRコード記載（仕上げ磨きの方法や口腔体操の動画）の歯科啓発リーフレットを活用し、コロナ禍でも歯と口の健康づくりに関する情報提供の充実を図れるような取組を行った	熊本市8020健康づくりの会

令和5年度熊本市成人歯科実態調査結果

1 調査概要

第3次熊本市歯科保健基本計画の成人期の最終評価と次期計画の成果指標設定に必要な基礎資料を得ることを目的に成人歯科実態調査(アンケート、歯科健康診査)を実施した。

■調査期間:令和5年4月1日～6月30日

■調査対象:20歳～69歳の市民

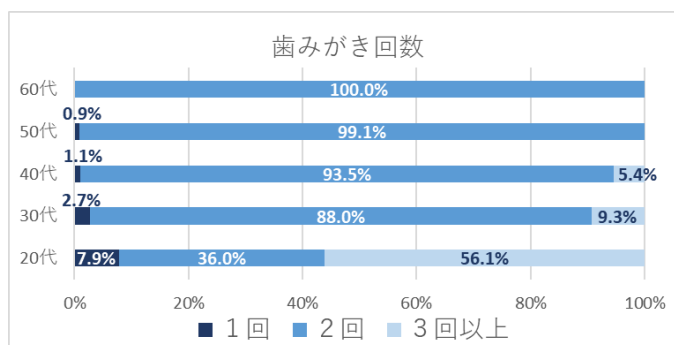
■調査人数:526人

年代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
人数	114人	75人	92人	116人	129人	526人

2 調査結果(アンケート)

(1)歯みがき回数

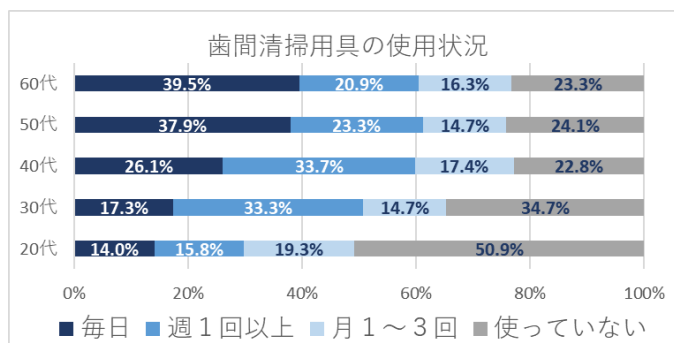
ほとんどの年代で1日に2回以上歯みがきを実施している。20代は1日1回の者が他の年代に比べて多い。



(2)歯間ブラシまたはデンタルフロスの使用状況

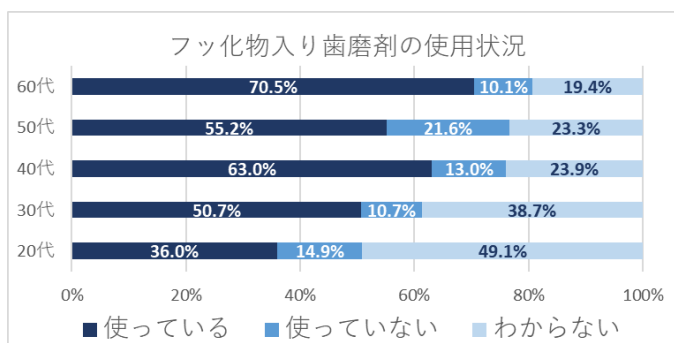
歯間清掃用具を週1回以上使用している者は、40代以上で約60%だった。

20代は約30%と最も低い。



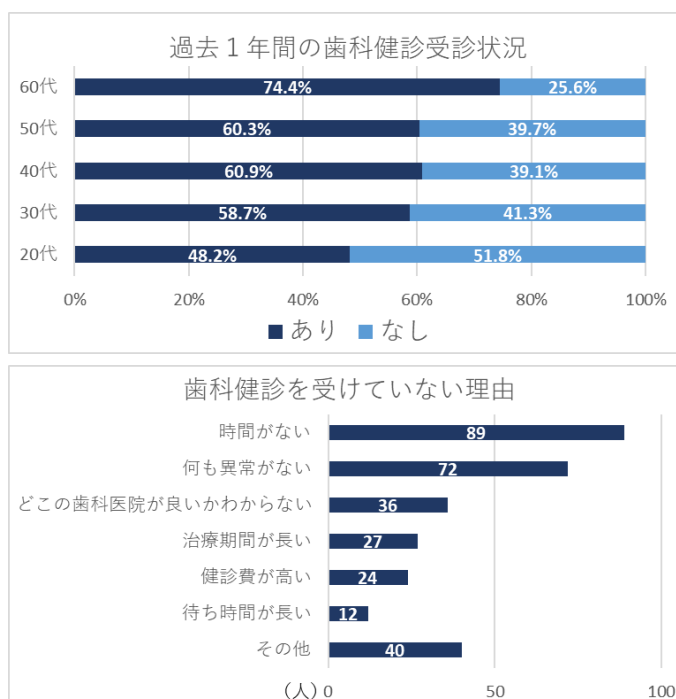
(3)フッ化物入り歯磨剤の使用状況

ほとんどの年代でフッ化物入り歯磨剤を使用しているが、年代が下がるにつれフッ化物入りを使用しているかどうか把握していない。



(4) 歯科健診受診状況

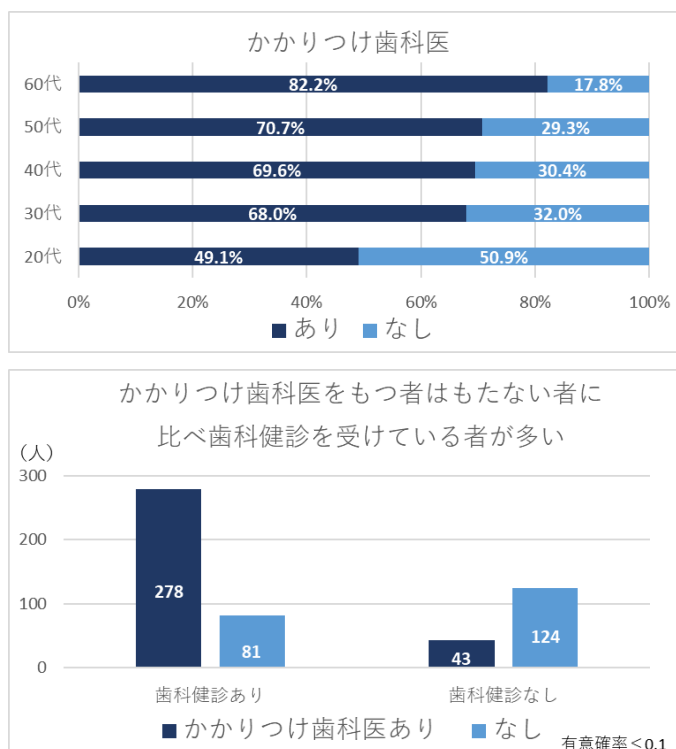
約40%が過去1年間に歯科受診していない。その理由として、「時間がない」「何も異常がない」「どこの歯科医院が良いかわからない」等の理由が多かった。「その他」の理由としては「歯が痛くても困らない」「怖い」「口の中を見られるのが恥ずかしい」「治療は済んだ」「コロナ」等がある。



(5) かかりつけ歯科医の有無

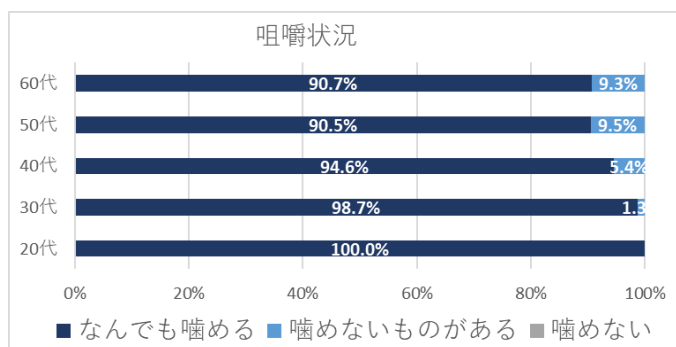
約70%の者がかかりつけ歯科医を持っているが、20代は半数ほどにとどまる。

また、かかりつけ歯科医をもつ者はもたない者に比べ歯科健診を受けている者が多かった。



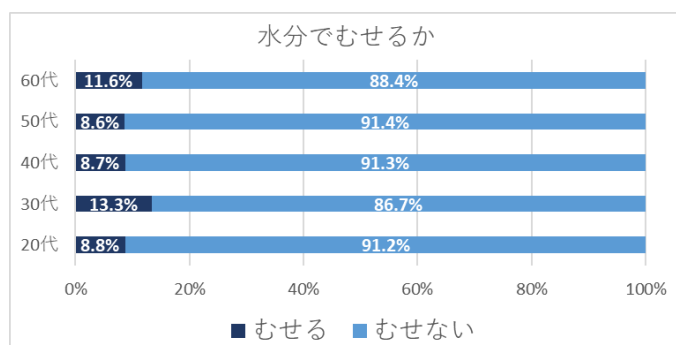
(6) 咀嚼状況

ほとんどの年代で「なんでも噛める」と回答した者が多かった。



(7) むせの状況

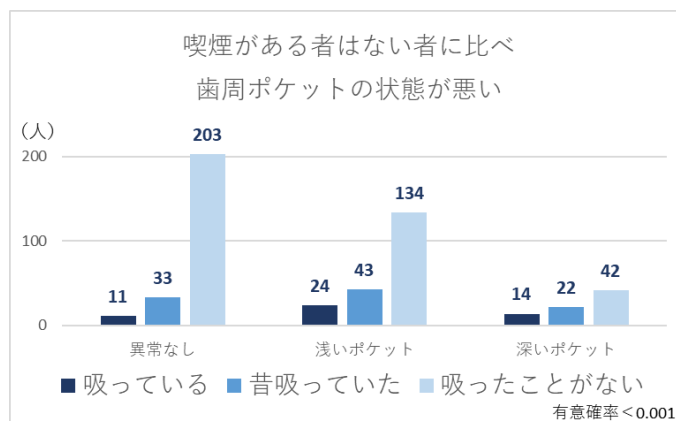
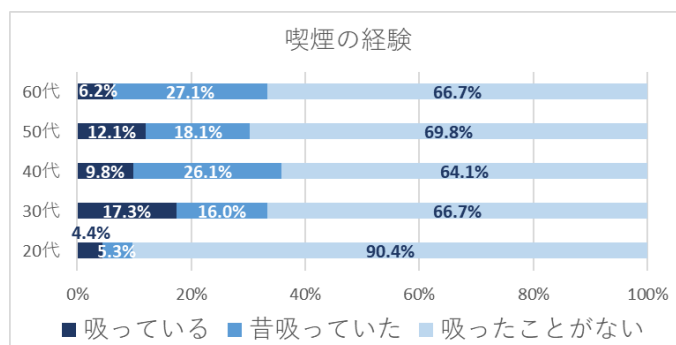
お茶や汁物等の水分でむせる者はどの年代も約10%となり、年代差はなかった。



(8) 喫煙の経験

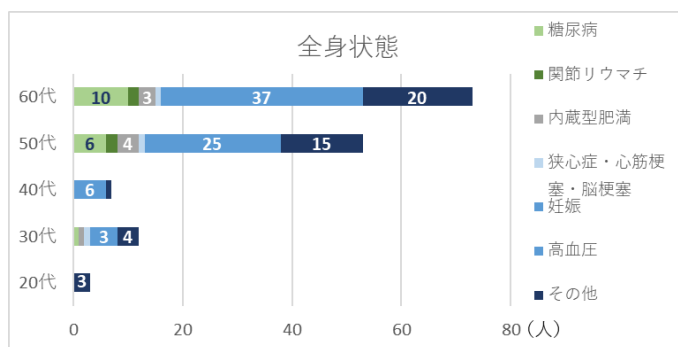
30代以上は約30%の者に喫煙経験がある。

喫煙経験がある者はない者に比べ、歯周ポケットの状態が悪いという結果であった。



(9)全身状態

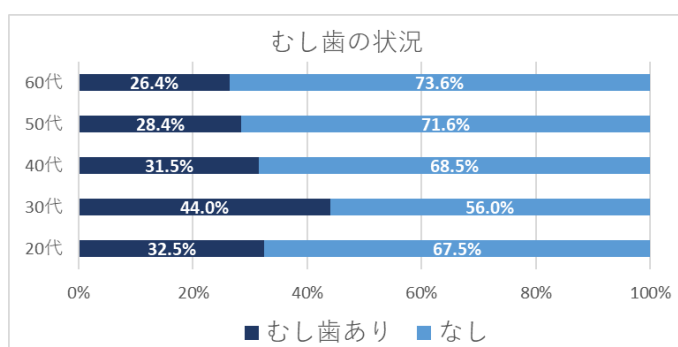
年代が高くなるにつれ、疾患をもつ者が多い。



3 調査結果(歯科健康診査)

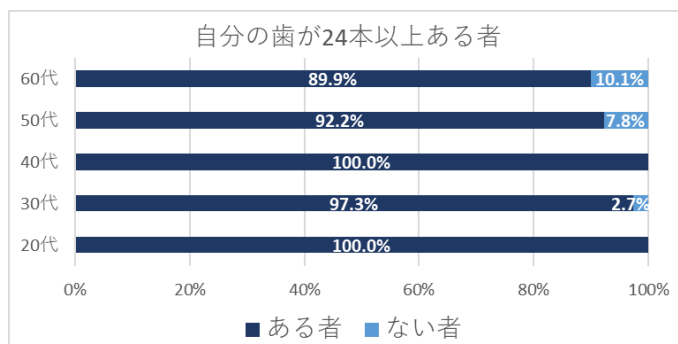
(1)むし歯の状況

治療していない歯をもつ者の割合は約30%である。



(2)自分の歯が24本以上ある

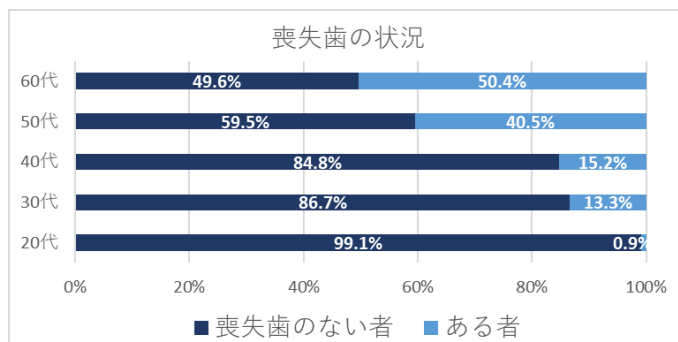
自分の歯を24本以上もつ者は年齢が上がるにつれ減っているが、60代も約90%の者が24本以上保っている。



(3)喪失歯の状況

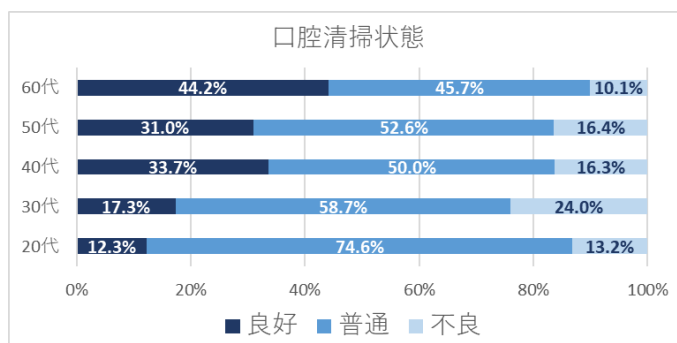
これまでに1本でも歯を失ったことがある者の割合である。年代が高いほど歯を失った経験をした者が増えている。

※歯列矯正治療に伴う便宜抜去は含めない。



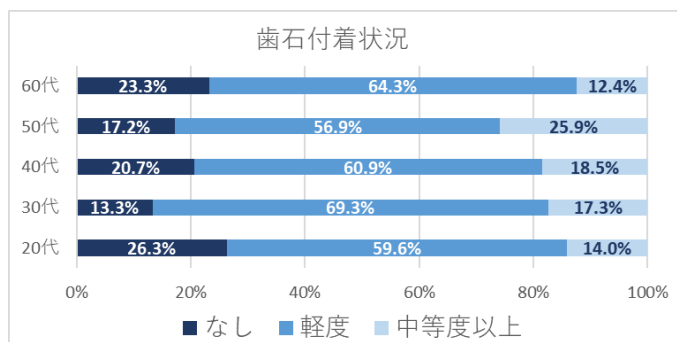
(4) 口腔清掃状態

口腔清掃状態が不良の者は約16%である。20～30代は良好な者の割合が少ない。



(5) 歯石付着状況

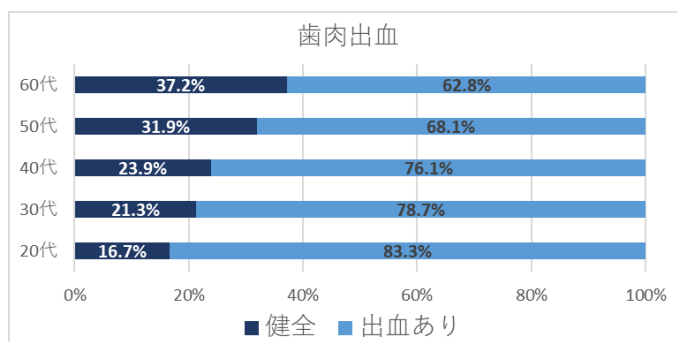
約80%の者に歯石付着が認められる。



(6) 歯肉出血

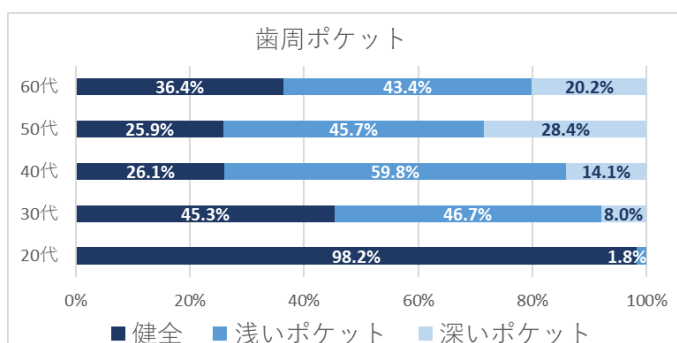
年代低いほうが歯肉から出血する者の割合が多かった。

歯肉からの出血がなくても深い歯周ポケットが認められる者も見られた。



(7) 歯周ポケット

20代のほとんどは問題なかった。年代が高くなるにつれ歯周ポケットが認められる者の割合が増える。



4 まとめ

- ① 多くの者が1日2回以上歯みがきをしているが、歯間清掃用具の使用やフッ化物入り歯磨剤の使用については十分とは言えない。今後も必要性を啓発していく必要がある。
- ② 約40%の者が過去1年間に歯科健診を受けていない。「治療が済んだから」という者もいたため、定期的に健診を受けることの意味を市民に確実に届くよう発信していく必要がある。
- ③ かかりつけ歯科医をもつ者は約70%いるが、定期的に歯科受診していない者も含まれる。何かあったら行く「行きつけの歯科医院」をもつのではなく、定期的に口腔管理をしてもらう「かかりつけの歯科医院」をもつことの大切さを周知する必要がある。
- ④ 喫煙経験がある者はない者に比べ、歯周ポケットの状態が悪いという結果が出た。喫煙は全身だけでなく口腔内にも大きな影響を及ぼすことを今後も発信していく必要がある。
- ⑤ 治療していない歯をもつ者は約30%であった。痛みなどの症状が出ないと気付かないことが多いため、定期的に歯科受診することが大切である。
- ⑥ 若い世代は口腔清掃状態良好者が少なく、歯肉出血がある者は多かった。40代になると歯周病で歯を失う者が増えてくるため、セルフケアと定期的な歯科健診の受診を勧める必要がある。

第3次歯科保健基本計画における成果指標の達成状況と令和5年度の目標値

資料3

【目標達成率の算出式(%)】(現状値－基準値)/(目標値－基準値)×100
a：10%以上の改善または目標達成 b：変わらない(－10%以上から10%未満) c：10%以上の悪化 d：評価困難

		指標項目	基準値	中間値	最終値	最終目標値(R5)	最終評価	出典資料等
胎 妊 児 期 及 び	1	口の健康と喫煙の関係について知っている者の増加	H23 50.3%	H29 57.0%	R4 62.5%	75.0%	a	妊婦歯科健診質問票
	2	妊娠中の喫煙をなくす	H23 5.5%	H29 3.4%	R4 1.7%	0.0%	a	母子健康記録票
	3	妊娠中に歯科健診・指導を受ける者の増加	H23 55.2%	H29 63.8%	R4 57.9%	75.0%	a	妊婦歯科健康診査
	4	1歳6か月児でのむし歯のない者の増加	H23 96.6%	H29 97.7%	R4 98.5%	100.0%	a	1歳6か月児歯科健康診査
	5	3歳児でのむし歯のない者の増加	H23 76.3%	H29 79.4%	R4 86.5%	90.0%	a	3歳児歯科健康診査
	6	3歳児での不正咬合等が認められる者の減少	H23 23.5%	H29 27.8%	R4 37.3%	10.0%	c	3歳児歯科健康診査
乳 幼 児 期	7	3歳までに2回以上フッ化物塗布を受けたことがある者の増加	H23 40.9%	H29 42.5%	R4 50.4%	70.0%	a	3歳児歯科健康診査
	8	フッ化物洗口を実施する認可保育園・幼稚園の増加	H23 46.2%	H29 48.4%	R4 46.3%	60.0%	b	フッ化物洗口事業
学 童 期	9	小学校でのむし歯や歯肉炎予防のための健康教室実施校の増加（区役所実施）	H23 29校	H29 24校	R4 82校	92校	a	地域保健事業報告
	10	12歳児でのむし歯のない者の増加（1人あたりむし歯本数の減少）	H23 1.29本	H29 0.81本	R4 0.74本	0.7本未満	a	熊本県歯科保健状況調査
中 ・ 高 生 期	11	中学生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	H23 28.9%	H29 24.3%	R4(暫定値) 24.7%	20.0%	a	熊本県歯科保健状況調査
	12	高校生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	H23 21.7%	H29 19.9%	R4(暫定値) 26.5%	20.0%	c	熊本県歯科保健状況調査
成 人 期	13	20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の減少	H22 38.0%	H29 58.6%	R5 83.3%	25.0%	c	歯たちの健診 (最終値はR5成人歯科実態調査から)
	14	40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	H22 35.4%	H30 65.1%	R4～5 14.2%	25.0%	a	成人歯科健診 (最終値はR4歯周病検診とR5成人歯科実態調査から)
	15	40歳の未処置歯を有する者の減少	H22 43.8%	H30 58.4%	R4～5 34.4%	10.0%	a	成人歯科健診 (最終値はR4歯周病検診とR5成人歯科実態調査から)
	16	40歳で喪失歯のない者の増加	H22 68.5%	H30 57.8%	R4～5 90.5%	75.0%	a	成人歯科健診 (最終値はR4歯周病検診とR5成人歯科実態調査から)
	17	60歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	H22 53.7%	H30 65.6%	R4～5 19.9%	45.0%	a	成人歯科健診 (最終値はR4歯周病検診とR5成人歯科実態調査から)
	18	60歳の未処置歯を有する者の減少	H22 15.8%	H30 44.1%	R4～5 27.2%	10.0%	c	成人歯科健診 (最終値はR4歯周病検診とR5成人歯科実態調査から)
	19	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の増加	H23 63.9%	H30 76.1%	R4～5 82.0%	※80.0%	a	健康くまもと21市民アンケート (最終値はR5市民アンケートとR4歯周病検診とR5成人歯科実態調査から)
	20	60歳代における咀嚼く良好者の増加	H22 51.6%	H30 79.0%	R4～5 84.6%	80.0%	a	成人歯科健診 (最終値はR5市民アンケートとR4歯周病検診とR5成人歯科実態調査から)
	21	定期検診を受ける者の増加	H23 25.4%	H30 55.6%	R4～5 57.4%	65.0%	a	歯科疾患実態調査、国民健康栄養調査 (最終値はR5市民アンケートとR4歯周病検診とR5成人歯科実態調査から)
	22	口の健康と喫煙の関係について知っている者の増加	H23 29.5%	H30 68.2%	R5 64.4%	70.0%	a	歯科疾患実態調査、国民健康栄養調査 (最終値はR5市民アンケートから)
高 齢 期	23	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者(8020達成)の増加	H23 38.3%	H30 62.0%	R5 35.1%	※65.0%	c	健康くまもと21市民アンケート調査
	24	介護老人福祉施設・介護老人保健施設での定期的な歯科検診実施率の増加	H24 78.9%	H30 92.2%	R5(暫定値) 42.9%	100%	c	介護老人福祉施設・介護老人保健施設アンケート調査
歯と口腔の健康づくりの環境づくり	25	障がい児(者)の種別毎の受入歯科医療施設の増加	H23 65施設	H30 64施設	R3 87施設	増加	a	熊本県障がい者支援課による調査
	26	障がい児(者)入所施設での定期的な歯科検診実施率の増加	H24 88.9%	H30 88.9%	R5(暫定値) 45.5%	100%	c	障がい児(者)入所施設アンケート調査
	27	8020推進員の育成数の増加(累計)	H24 638人	H29 912人	R4 1,316人	1,000人	a	8020推進員の育成事業

※ 目標値を修正した項目